MITSUBISHI

三菱 自然冷媒 ヒートポンプ式電気給湯機

季節別時間帯別電灯／時間帯別電灯（通電制御型）

取扱説明書

システム形名チェック欄 □ に、お買い上げの給湯機をチェックしてください。（修理等のお問合わせの際にご利用ください。）

システム形名

一般地向け

エスアールテー エイチピー ダブリュウ
- □ SRT-HP37W2
- □ SRT-HP37WD2
- □ SRT-HP46W2
- □ SRT-HP46WD2
- □ SRT-HP46WDM2
- □ SRT-HP55W2

一般地向け〈薄型〉

エスアールテー エイチピー ダブリュウゼット
- □ SRT-HP37WZ2
- □ SRT-HP43WZ2

集合住宅向け

エスアールテー エイチピー ダブリュウデー
- □ SRT-HP30WD2

寒冷地向け

エスアールテー エイチピー ケー ダブリュウ
- □ SRT-HPK37W2
- □ SRT-HPK37WD2
- □ SRT-HPK46W2
- □ SRT-HPK46WD2

※耐塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BS」が付きます。
　耐重塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BSG」が付きます。
　簡易梱包タイプはシステム形名の末尾に「-E」が付きます。

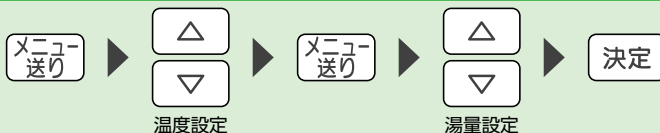
- ●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「取扱説明書」を必ず読み、大切に保管してください。
- ●お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
- ●「保証書」「据付工事説明書」「据付工事確認書」は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。給湯機を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者の方へ渡してください。

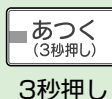
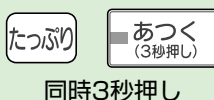
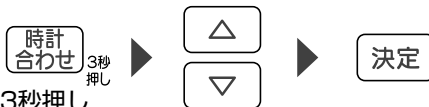
最初にリモコンを確認ください。

台所リモコン･浴室リモコンは、「スクエアタイプ」「ラウンドタイプ」の2タイプご用意しています。

台所リモコン
（RMC-KD2）

浴室リモコン
（RMC-BD2）

- 音声ガイダンス機能付き
（本書では「音声ガイダンス」と記載）
- インターホン機能付き
- 表示部バックライト機能無し

ご使用の前に
スクエアリモコンの使いかた
ラウンドリモコンの使いかた
こんなとき
故障かな

早見表 スクエアリモコン

項目	操作	ページ
おふろにお湯を入れる	ふろ自動	P.14
湯はりの温度と量を決める	メニュー送り ▶ △▽（温度設定） ▶ メニュー送り ▶ △▽（湯量設定） ▶ 決定	P.16
「蛇口・シャワー」の温度を決める	優先（優先権切替） ▶ ▲▼	P.17
追いだきをする	あつく（3秒押し） 3秒押し	P.18
熱いお湯をたす	たっぷり あつく（3秒押し） 同時3秒押し	P.19
ぬるくする	ぬるく	P.20
お湯をたす	たっぷり	P.20
インターホンを使う	通 話	P.21
時刻を合わせる	時計合わせ 3秒押し ▶ △▽ ▶ 決定	P.22
わき上げモードを設定する	メニュー送り ▶ △▽ ▶ 決定	P.26

ご使用の前に必ずリモコンのタイプを確認してください。

ラウンドリモコン

台所リモコン
(RMC-HP4KD)

浴室リモコン
(RMC-HP4BD)

- 音声ガイダンス機能付き
  (本書では「音声ガイダンス」と記載)
- インターホン機能付き
- 表示部バックライト機能付き
  (台所リモコン)

早見表 ラウンドリモコン

もくじ

ご使用の前に

リモコンの使いかた

スクエアリモコンをお使いの方

ラウンドリモコンをお使いの方

こんなとき

故障かな

ご使用の手順

①必ずお読みください。

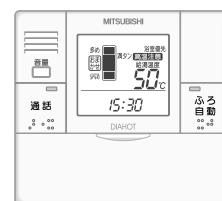
「安全のために必ずお守りください」P.6
「ご使用にあたってのお願い」P.8

※お使いになる際に、必ず守っていただきたいことが記載してあります。

②台所リモコンの表示を確認します。

表示が点灯している

そのままご使用できます。（③へ）

「残湯なし」の表示がでている場合は を押してください。約8時間でタンク全体のお湯をわかします。

点灯時（例）

表示が消灯している または

タンクに水が入っていない方

タンクに水を入れる P.64 に従ってください。

③お湯を使ってみましょう。

蛇口やシャワーを使う

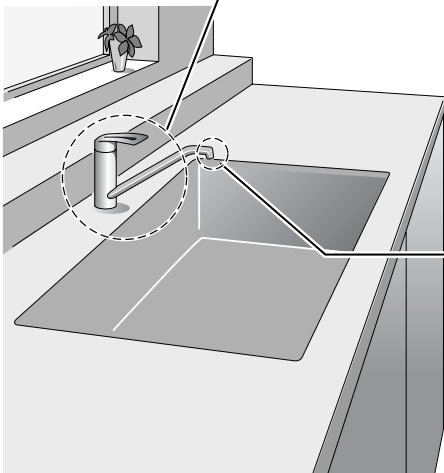
- 蛇口やシャワーの温度を決める

おふろに入る

- 湯はりの温度と量を決める
- おふろにお湯を入れる

④お手入れをします。

- 日常のお手入れ P.58
  時刻の確認・浴槽アダプタの掃除・注水洗浄など
- 年に2～3回のお手入れ P.58

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

■本文中や機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。

禁止	指示に従う	感電注意	高温注意	発火注意	回転物注意

やけどを防ぐために!

警告

やけど注意

給湯時は、湯水混合栓に手を触れない

使いはじめは、湯温を確認する

特に朝の使いはじめは、しばらくお湯に触れないでください。
空気の混ざった湯が飛び散ることがあります。

やけど注意

「あつく」スイッチを使用するときは、浴槽アダプターから離れる

入浴時やシャワー使用時は、必ず、指先などで湯温を確認する

やけど注意

ヒートポンプ配管に手を触れない

給湯温度を変更するときは、他の蛇口の使用状況を確認する

部品名は各部のはたらき（P9～P11）をご覧ください。

安全に使用するために

⚠警告

浴槽アダプターのカバーを外したまま使用しない
髪の毛等を吸い込まれるなど思わぬ事故を起こすことがあります。

分解禁止
前面カバーや工事用窓を開けない
改造しない

近くにガス類や引火物を置かない
（ガスボンベからは2m以上離す。）

ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンや空気吹出口に手や棒を入れない

異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「三菱電機修理窓口 P79」へ連絡する

⚠注意

浴槽アダプターをふさがない
配管が故障し、水漏れすることがあります。

そのまま飲用しない
長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼してください。

機器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えたりしない
（事故・やけどの原因になります。）

機器の点検・お手入れに関する注意

⚠警告

漏電遮断器の動作を確認する P58

逃し弁の点検をする（タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。） P58
- 点検時は内部の配管に手を触れない
- 点検終了後、操作窓は閉じる

アース工事
アース工事を確認する
（故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取付けは、据付工事店（販売店）へお問い合わせください。）

⚠注意

ヒートポンプユニットの架台が傷んだ状態で使用しない
（ヒートポンプユニットが落下、転倒し、けがをすることがあります。）

凍結防止対策の確認をする P60
（タンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。）

床面が防水・排水処理されているか据付工事店（販売店）へ確認する
（水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。）

操作カバー・操作窓・配管カバーは閉じる
（雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。）

長期間使用しないとき、使用を再開するとき

⚠警告

長期間使用しないときは、本書の手順に従って、機器と配管内の水を確実に抜く P62
- 排水時はお湯に手を触れない
- タンクの熱湯を直接排水しない

⚠注意

初めて使用するときや、使用を再開するときは、本書の手順に従う P64

ご使用にあたってのお願い

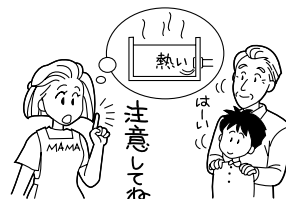
お湯を上手に使う

貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

- シャワーは止めながら（髪を洗っているときは止めましょう。）
- 洗いものをするときも止めながら

流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

「追いだき」、「高温さし湯」についてのお願い

追いだきや高温さし湯を行うと、浴槽アダプターから、熱いお湯が出ます。お子さまや高齢者の方の取扱いについては、特に注意してください。

安全のため、あつくスイッチは3秒以上押さないとお湯が出ません。

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻がずれた場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。

時刻がずれていると、電気料金は割高になります。

必ず水道水をご使用ください

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。ただし、水質によっては、タンク・ヒートポンプユニット・減圧弁・逃し弁等の寿命が通常より短くなることがあります。
- 特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。（不具合が発生した場合、無償保証できません。）

入浴剤を使うときのお願い

〈避けて頂きたい入浴剤〉

ふろ循環ポンプの不具合や配管等の金属腐食の原因になります。

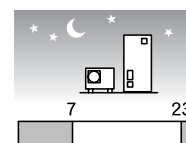
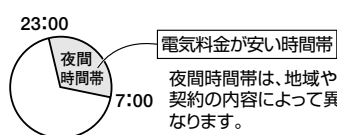
- 炭酸ガスにより発泡させるもの
- 硫黄成分が含まれるもの
- 炭酸カルシウムを含むもの（濁り湯状にさせるもの）

夜間時間帯のご使用について

この給湯機は主に、夜間時間帯にお湯をわかしますので、**この時間帯にお湯を使うと、昼間にわき増しを行い電気代が高くなる場合があります。**

電気料金が安い時間帯

夜間時間帯は、地域や契約の内容によって異なります。

電気料金が安い夜間時間帯に主にお湯をわかします。

湯はりをするときのお願い

湯はりをするときは、次のことをご確認ください。

- 浴槽の残水を排水して排水栓を閉じる
- 浴槽のふたをする

リモコンに水をかけない

- 台所リモコンは防水タイプではありません。水をかけないでください。（故障の原因）
- 浴室リモコンは防水タイプですが、なるべく水をかけないでください。（故障の原因）

機器周辺部の点検

- 積雪時は機器の周囲を除雪してください。（誤動作や故障の原因）
- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものを置かないでください。（性能低下や故障の原因）

機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

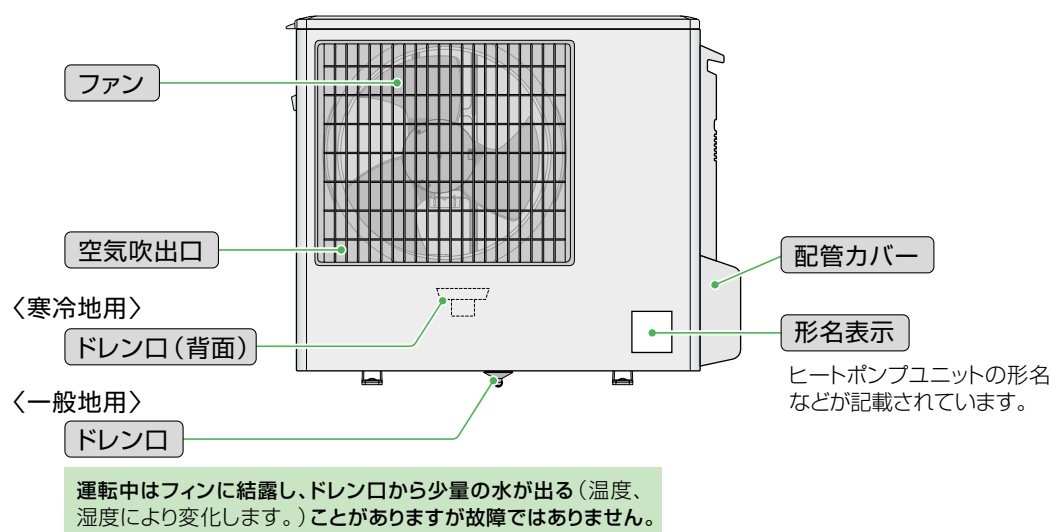
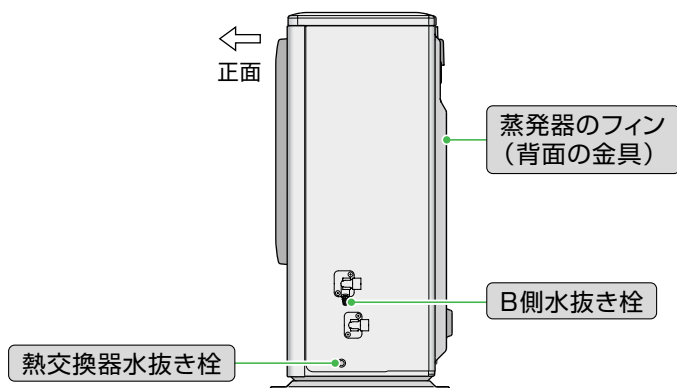
- 運転音や振動が気になる場所（隣家の迷惑になる場所）
- 一般地向け：最低気温がマイナス10℃以下となる場所
  寒冷地向け：最低気温がマイナス20℃以下となる場所
- ヒートポンプユニットの屋内設置
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

浴槽等の点検

浴槽や洗面台はよく洗ってください。
青い線が付きにくくなります。

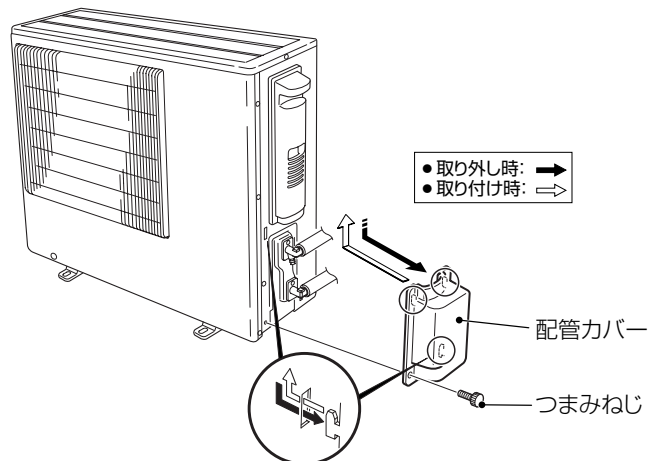
各部のはたらき

ヒートポンプユニット

運転中はフィンに結露し、ドレン口から少量の水が出る（温度、湿度により変化します。）**ことがありますが故障ではありません。**

〈配管カバーを外した図〉

配管カバーの外しかた

（1）つまみねじ（1本）を外す
（2）配管カバーを下方にずらしてツメを外し、
　手前に引く

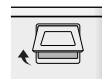
⚠警告

●ヒートポンプ配管に手を触れない
（やけどの原因）

各部のはたらき（つづき）

貯湯タンクユニット

機種によって部品の取付位置や形状が異なります。

上部振れ止め金具
2階以上に据付けた場合、地震のとき製品の転倒を防ぐため、壁に固定する金具です。

逃し弁 操作窓
逃し弁の操作や点検をするときに開けます。

逃し弁
わき上げ時の膨張水を排出し、タンク内の圧力上昇を逃がす装置で、タンク内を一定圧力（193kPa）以下にします。

減圧弁
タンクへの給水圧力（170kPa）を保ちます。

操作カバー
漏電遮断器の動作点検をするときに開けます。
つまみねじを回して開けます。

電源レバー
電源を「入」・「切」します。

テストボタン

工事用窓
絶対に開けないでください。

非常用取水栓
非常の際には、タンクの水（お湯）を取り出して生活用水として利用できます。P66

排水栓
タンクのお湯を排水するときに使用します。P62

排水口
逃し弁、排水栓からのお湯（水）や湯気が出ます。

「わき上げ中」は、逃し弁からの水が少量出ますが故障ではありません。

タンク

前面カバー

形名表示
貯湯タンクユニットの形名などが記載されています。

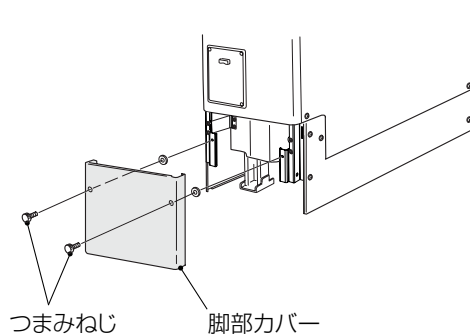
水抜き栓
下記参照

脚

脚部カバー（別売）

ドレンホース
万一の水漏れの場合は、ここから排水します。

脚部カバーの外しかた

（1）つまみねじ（2本）を外す
（2）脚部カバーを手前に引く

水抜き栓、ストレーナー、非常用取水栓、給水配管専用止水栓の取付位置

①	ヒートポンプ配管用水抜き栓
②	給湯配管用水抜き栓
③	ふろ配管用水抜き栓
④	ふろ循環ポンプ用水抜き栓
⑤	ストレーナー
⑥	非常用取水栓
⑦	給水配管専用止水栓

「⑦給水配管専用止水栓」が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。

貯湯タンクユニット〈薄型〉

逃し弁 操作窓
逃し弁の操作や点検をするときに開けます。

逃し弁
わき上げ時の膨張水を排出し、タンク内の圧力上昇を逃がす装置で、タンク内を一定圧力(193kPa)以下にします。

減圧弁
タンクへの給水圧力(170kPa)を保ちます。

操作カバー
漏電遮断器の動作点検をするときに開けます。
つまみねじを回して開けます。

電源レバー
電源を「入」・「切」します。

テストボタン

水抜き栓
下記参照

排水栓
タンクのお湯を排水するときに使用します。 P.62

非常用取水栓
非常時にタンク内のお湯を取り出すときに使用します。 P.66

前面カバー

上部振れ止め金具
2階以上に据付けた場合、地震のとき製品の転倒を防ぐため、壁に固定する金具です。

タンク

工事用窓
絶対に開けないでください。

形名表示
貯湯タンクユニットの形名などが記載されています。

脚部カバー(別売)

脚

排水口
逃し弁、排水栓からのお湯(水)や湯気が出ます。

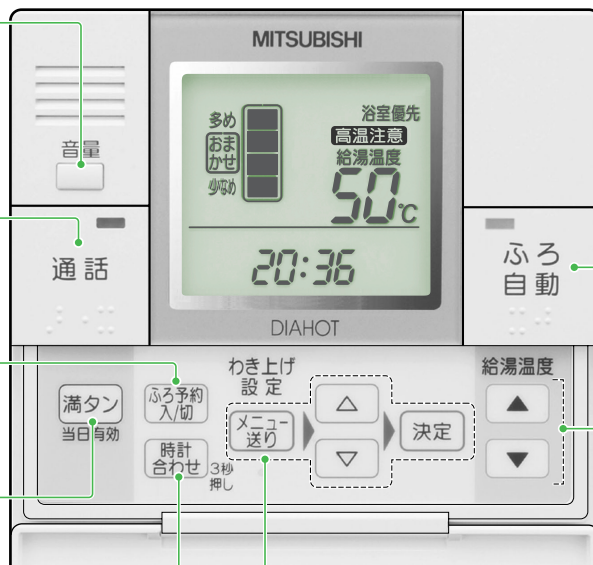
「わき上げ中」は、逃し弁からの水が少量出ますが故障ではありません。

番号	名称
①	ヒートポンプ配管用水抜き栓
②	給湯配管用水抜き栓
③	ふろ配管用水抜き栓
④	ふろ循環ポンプ用水抜き栓
⑤	ストレーナー
⑥	非常用取水栓
⑦	給水配管専用止水栓
⑧	ヒートポンプ給水配管用水抜き栓

「⑦給水配管専用止水栓」が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。

リモコンのはたらき スクエアリモコン

台所リモコン（フタを開けた状態です。）

- 音声ガイダンスの音量、通話音量を設定できます。 P21 P24
- 浴室リモコンと通話できます。 P21
- きめた時間におふろにお湯をはれます。 P23
- タンク内の湯のわき増しができます。 P25
- 現在時刻を設定したり、変更するとき使用します。 P22
- おふろにお湯をはれます。 P14
- 蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P17

MITSUBISHI
DIAHOT
音量
通話
ふろ自動
多め
おまかせ
少なめ
浴室優先
高温注意
給湯温度
50℃
20:36
満タン
当日有効
ふろ予約入/切
時計合わせ
3秒押し
わき上げ設定
メニュー送り
決定
△
▽
給湯温度
▲
▼

メニュー送り を使って、以下の設定、表示を行えます。

メニュー送り を押す	メニュー送り を3秒以上押す
● わき上げモード設定 P26	● タンク温度表示 P30
↓	↓
● 深夜のみ設定 P27	● お湯の使用量表示 P30
↓	↓
● 上部わき増し設定 P27	● 電力契約設定 P30
↓	
● 停止日数設定 P29	

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

残湯量の見かた(詳細は P71)

ポイント

- 「■」は45℃以上のお湯を表しています。自然放熱などでタンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
- 使用できるお湯の量は、タンク容量で異なります。

浴室リモコン（フタを開けた状態です。）

音声ガイダンスの音量、通話音量を設定できます。 P21 P24

おふろにたし湯をします。 P20

台所リモコンと通話できます。 P21

給湯温度を変更できるリモコンを切り替えます。 P17

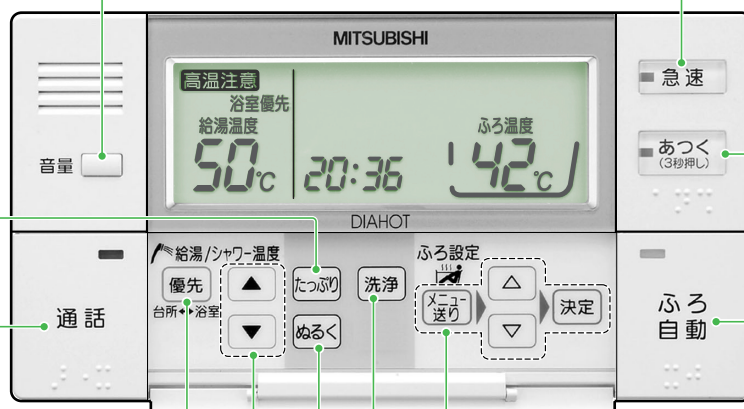
蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P17

おふろにさし水をして温度を下げます。 P20

ふろ配管内の水を流し出します。洗浄剤を循環させ、配管内を洗浄することもできます。 P32

おふろのあたためかたを切り替えます。 P18 P19

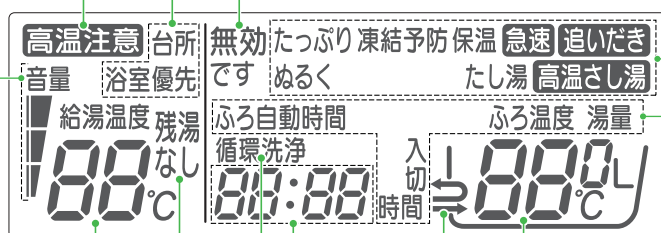
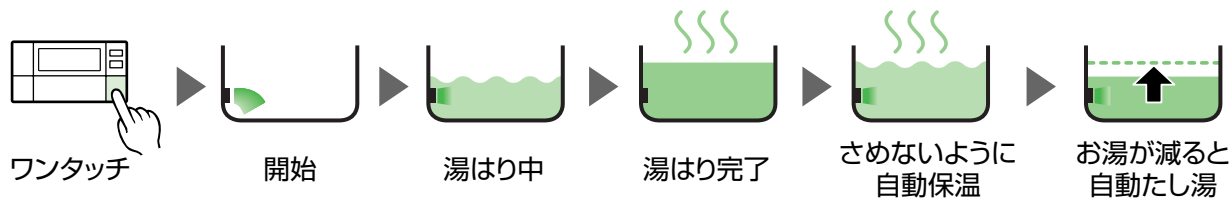
おふろの温度を上げます。 P18 P19

おふろにお湯をはれます。 P14

［メニュー送り］を使って、以下の設定を行えます。

［メニュー送り］を押す		［メニュー送り］を3秒以上押す	
●湯はり温度	P16	●高温さし湯量	P31
↓		↓	
●湯はり湯量	P16	●凍結予防運転	P31
↓		↓	
●ふろ自動継続時間	P28	●ふろ自動モード	P31

※①湯はり温度は、［メニュー送り］を省略し、［△］［▽］スイッチを押して設定できます。

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

おふろにお湯を入れる

この給湯機は、おふろにワンタッチの自動運転（ふろ自動運転）でお湯を入れて使います。
浴室リモコン、台所リモコン、サブリモコン（オプション）で操作できます。

湯はり終了後、設定された時間の間、おふろの温度とお湯の量を保つ運転（「自動保温」、「自動たし湯」）が働きます。
「自動保温」、「自動たし湯」の継続時間は変更することができます。（P28）
また、「自動保温」のみ行い、「自動たし湯」は行わないようにすることもできます。（P31）

ポイント

- **リモコンに「残湯なし」が点灯している場合は、湯はりできません。**
- **湯はり中に蛇口からおふろにお湯（水）を入れないでください。**
- **湯はり中にシャワーや台所などでお湯を使うと湯はりの時間が長くなります。**
- 湯はりが完了する前に（ふろ自動ランプが点滅しているときに）おふろに入らないでください。浴槽の水位が高くなったり、あふれたりすることがあります。
- 湯はり中に**水位確認のため湯はりを中断することがあります。**ふろ自動ランプが点滅していれば正常です。
- 湯はり時間は、配管施工上の条件や水源水圧、蛇口などの使用状況により、多少変わることがあります。また、**設置後１週間程度は、浴槽形状を学習するため、湯はり時間が長くなります。**
- 湯はり中またはふろ自動中にポンプが空気を吸い込む音がする場合があります。湯はりが終わると音はしなくなります。異常ではありません。
- 「自動保温」、「自動たし湯」中に、浴槽の湯を使用するなどして浴槽アダプター付近まで水位が低下すると、「ふろ自動」ランプが消灯したり、「ふろ自動」ランプ点灯中でも「自動たし湯」が働かなくなります。

こんなときは?

❏ジェットバスをご使用の場合

ジェットバスを使用する場合は、ふろ自動を「切」にしてください。

❏浴槽に残り湯があるときに「ふろ自動スイッチ」を押すと、残り湯の量によって湯はり動作が異なります。

残り湯の状態によって、湯があふれたり、湯が足されないなど、湯量が安定しないことがありますので、**残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。**

状態	図	動作
残り湯が浴槽アダプターより多いとき	〈湯はり前〉 設定湯量 浴 槽 アダプター → 〈湯はり完了時〉 設定湯量	設定温度まで追いだきしてから、設定湯量までお湯をたします。通常の湯はりと同様に、設定した温度･水位で湯はりが完了します。なお、湯はり開始時に設定湯量以上の湯がある場合は、呼び水分だけお湯が増えます。
残り湯が浴槽アダプター付近のとき	〈湯はり前〉 設定湯量 浴 槽 アダプター → 〈湯はり完了時〉 設定湯量	お湯はりが途中で中断されたり、残り湯分だけお湯が増える場合があります。残り湯を排水してから湯はりを行なってください。
残り湯が浴槽アダプターより少ないとき	〈湯はり前〉 設定湯量 浴 槽 アダプター → 〈湯はり完了時〉 設定湯量	湯はり完了時に、残り湯分だけ、お湯が増えます。また、温度も設定した温度より低くなります。（お湯があふれる場合がありますので残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。）

台所リモコン

浴室リモコン

1 おふろに水がないことを確認し、おふろの栓、ふたをする

- 湯はり温度、量の設定方法 P.16

2 を押す

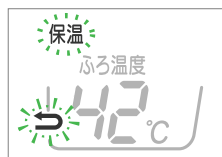
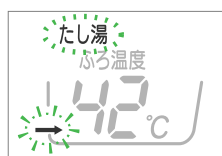
▶湯はりが始まります。（音声ガイダンス）

- 湯はり中は、ふろ自動ランプが点滅します。
- 途中でやめるときは、もう一度「ふろ自動」スイッチを押します。
- :点灯、:点滅

3 湯はりが終わると 音声でお知らせします

（音声ガイダンス）

- ふろ自動ランプが点灯にかわります。

4 設定された時間の間、「自動保温」、「自動たし湯」が働きます。

自動保温中

自動たし湯中

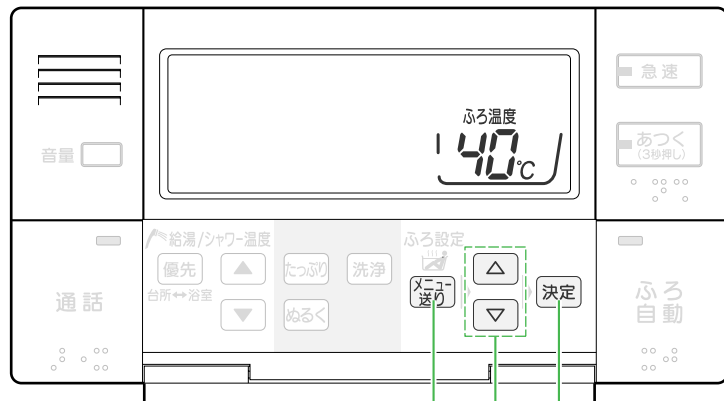
- 「自動保温」、「自動たし湯」は設定時間になると終了（ふろ自動ランプ消灯）しますが、再度、ふろ自動スイッチを押すと延長されます。
- 「自動保温」、「自動たし湯」中に「残湯なし」が点灯すると、ふろ自動ランプが消灯します。
- 「自動保温」、「自動たし湯」中に浴槽水位が浴槽アダプター付近まで低下すると「自動たし湯」が行われなくなったり、ふろ自動ランプが消灯します。「たっぷり」を押し、残り湯を浴槽アダプターより多くしてから、ふろ自動スイッチを押してください。

☐ 入浴後は、ふろ自動ランプが消灯していることを確認し、お湯を排水して、注水洗浄（P.32）を行う

- 排水するときは、ふろ自動ランプが消灯（ふろ自動ランプが点灯している場合は、ふろ自動スイッチを押してください。）していることを確認してください。自動たし湯機能がはたらき、お湯がムダになります。

湯はりの温度と量を決める

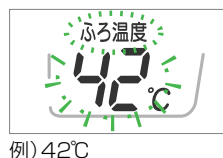
最初の数回は、ご家庭のおふろにあわせる設定をしてください。
適切な温度と量が決まれば次回からこの操作は不要となります。

浴室リモコン

●設定できる範囲

温度	35℃～48℃（1℃刻み） 工場出荷時は42℃
量	100L～400L（20L刻み） 工場出荷時は180L

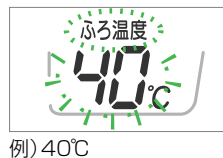
※温度、量は目安です。

1 [メニュー送り] を押す

▶「ふろ温度」と現在の設定温度が表示され、湯はりの「温度」を設定できるようになります。

例）42℃

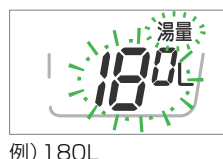
- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- 手順1は省略することができます。
- ：点灯、：点滅

2 [△] または [▽] を押して 湯はりの「温度」を設定する

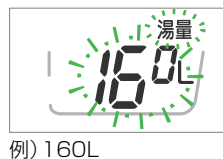
▶押すごとに、1℃ずつ温度がかわります。

例）40℃

- 湯はりの「温度」は目安温度です。浴槽内の温度は配管や浴槽に熱をうばわれるため、それよりも少し下がることがあります。湯はり後の浴槽内温度が低い場合は、次回から湯はりの温度を上げて湯はりをしてください。

3 [メニュー送り] を押す

▶「湯量」と現在の設定量が表示され、湯はりの「量」を設定できるようになります。

例）180L

4 [△] または [▽] を押して 湯はりの「量」を設定する

▶押すごとに、20Lずつ量がかわります。

例）160L

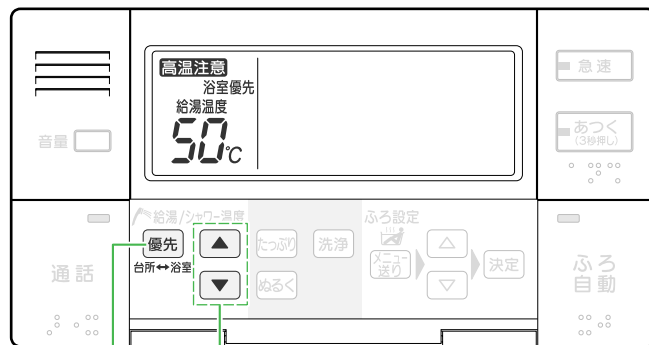
5 [決定] を押す

▶設定完了です。（音声ガイダンス）
表示部は時刻表示に戻ります。

- [メニュー送り]を押しても設定が完了します。（表示が次のメニュー表示となります。）

ポイント
- 湯はりの「湯量」を設定するときは、最初は浴槽に対して少なめに設定してください。ただし、浴槽アダプターが水中にかくれるように設定してください。
- 湯はり中やふろ自動中でも、湯はり温度、湯量を変更できます。ただし、湯はりが完了したときの湯温、湯量が設定と異なる場合があります。
- 手順1を省略し、手順2～5で湯はりの温度、量を設定できます。

「蛇口・シャワー」の温度を決める

蛇口へ行くお湯の温度は、「優先権」のあるリモコンで設定します。

台所リモコン

浴室リモコン

●設定できる範囲

35℃〜48℃（1℃刻み）／50℃／60℃
工場出荷時は50℃

※温度は目安です。

1 お湯の温度を設定するリモコンを選ぶ

浴室リモコンの

優先 を押す

▶押すごとに、優先権が移ります。
優先権をもったリモコンが
音声でお知らせします。
（音声ガイダンス）

● 優先権をもったリモコンは、「給湯温度を変更できます。」と音声でお知らせします。一方、リモコンに「優先権」がなくなったときは警告音が鳴ります。給湯温度の表示を確認し、お湯を使用してください。

● 優先権を台所リモコンから浴室リモコンに変更した場合、給湯温度は、以前に浴室リモコンで設定された温度となります。
一方、優先権を浴室リモコンから台所リモコンに変更した場合、給湯温度は変わりません。

2 優先権のあるリモコンの給湯温度設定スイッチの ▲ または ▼ を押して温度を設定する

▶ ▲ を押すと温度が高くなります。
▼ を押すと温度が低くなります。

▶設定完了です。（ 音声ガイダンス）

● 給湯温度を50℃または60℃に設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。（60℃に設定した場合は各リモコンから警告音、音声ガイダンスも流れます。）

ポイント

● タンク内の温度が低いとき（特にわき上げモードが「少なめ」の場合など）は、設定より低い温度のお湯が出ることがあります。
● 蛇口から出るお湯は、配管部分の放熱によって低くなることがあります。
● 給湯中に湯はり、自動たし湯、たっぷり、ぬるく、高温さし湯をすると給湯湯温が多少変動することがあります。
● サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度設定を使用するお湯の温度より10℃以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60℃にし、水と混ぜてご使用ください。

追いだきをする

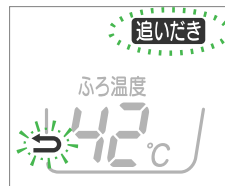
おふろの量をかえずに、温度を上げたいとき（追いだき）に使います。
湯はりをするときに設定した温度になるまで追いだきを行います。（自動で停止）

⚠警告

- 入浴するときは、浴槽の温度を指先等で確認する
- 追いだきをするときは、浴槽アダプターから離れる

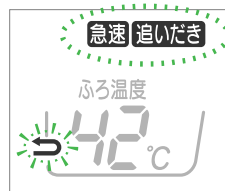
（やけどの原因）

1 あつく（3秒押し）を3秒以上押す

▶追いだきが始まります。浴槽アダプターから熱いお湯が出ます。
（音声ガイダンス）

- 動作中は、あつくランプが点灯します。
- 途中でやめるときは、もう一度、「あつく」スイッチを押します。（あつくランプ、表示部の「追いだき」「⮌」が消灯します。）
- ：点灯、：点滅

〈すばやくあたためたいときは〉

2 追いだき中に 急速 を押す

▶急速追いだきが始まります。浴槽アダプターから熱いお湯が出ます。
（音声ガイダンス）

- 動作中は、急速ランプが点灯します。
- 急速追いだき中に、もう一度、急速スイッチを押すと、通常の追いだきに戻ります。（急速ランプ、表示部の「急速」が消灯します。）

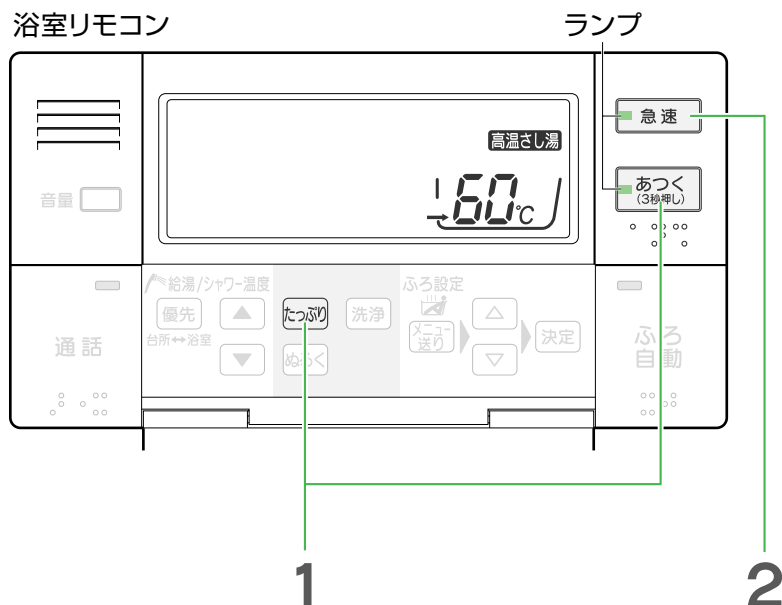
ポイント

- 追いだきはタンク内のお湯の熱を利用しています。そのため、使い方によっては、お湯が不足したり、追いだきができなくなることがありますので、深夜のみモードを解除（P.27）、わき上げモード（P.26）を「多め」または「おまかせ」に設定してご使用いただくことをおすすめします。
- すでにおふろの温度が設定温度以上になっているときに押すと、現在のおふろの温度から約2℃上げるように（最高で48℃まで）追いだきを行います。
- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合は、タンク内に追いだき可能なお湯がないため、追いだきは使用できません。
- タンク内の湯温が低いと、追いだきが途中で停止（「残湯なし」表示）することがあります。

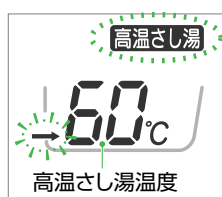
ご使用の前に
スクエアリモコンの使いかた
ラウンドリモコンの使いかた
こんなとき
故障かな

熱いお湯をたす（高温さし湯）

おふろの温度を、約2℃上げるために必要な熱いお湯が入ります。（最大で約60L、自動で停止）

⚠警告

- 高温さし湯をするときは、浴槽アダプターから離れる
- 浴槽にお湯がないときは、あつくスイッチを押さない

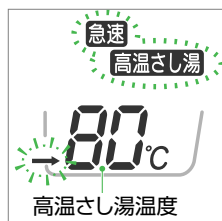
（やけどの原因）

1 たっぷり と あつく（3秒押し） を同時に3秒以上押す

▶高温さし湯が始まります。浴槽アダプターから**熱いお湯（約60℃）**が出ます。
（音声ガイダンス）

- 動作中は、あつくランプが点灯します。
- **途中でやめるときは、もう一度、「あつく」スイッチを押します。**
（あつくランプ、表示部の「高温さし湯」「➡」が消灯します。）
- ：点灯、：点滅

〈すばやくあたためたいときは〉

2 高温さし湯中に 急速 を押す

▶急速高温さし湯が始まります。浴槽アダプターから**熱いお湯（約80℃）**が出ます。

- 動作中は、急速ランプが点灯します。
- もう一度、急速スイッチを押すと、通常の高温さし湯に戻ります。
（急速ランプ、表示部の「急速」が消灯します。）

ポイント

- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合や浴槽の残り湯が浴槽アダプターより少ない場合は、高温さし湯は使用できません。
- **タンク内の温度が低いとき（特に、わき上げモードが「少なめ」の場合など）や配管などの条件によっては、設定より低い温度のお湯が出ることがあります。**
- 高温さし湯の湯量をいつでも多めに固定したい場合は、P31の手順で「50Lに固定する(たっぷり高温さし湯)」ことができます。
- シャワー等を使用しているときに高温さし湯を行うと、高温さし湯の温度が設定より低い温度になることがあります。

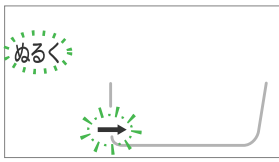
ぬるくする、お湯をたす

「ぬるく」スイッチを押すと、おふろの温度を約1℃下げるために必要な水が浴槽に入ります。（最大で約20L、自動で停止）
「たっぷり」スイッチを押すと、湯はりをするときに設定した温度のお湯（約20L）が浴槽に入ります。（自動で停止）

浴室リモコン

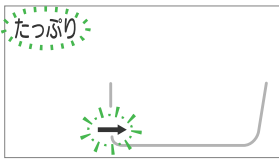
〈ぬるくしたいときは〉

1 ぬるく **を押す**

▶浴槽アダプターから水が出ます。
（音声ガイダンス）

- 途中でやめるときはもう一度「ぬるく」スイッチを押します。
- ：点灯、：点滅

〈お湯をたしたいときは〉

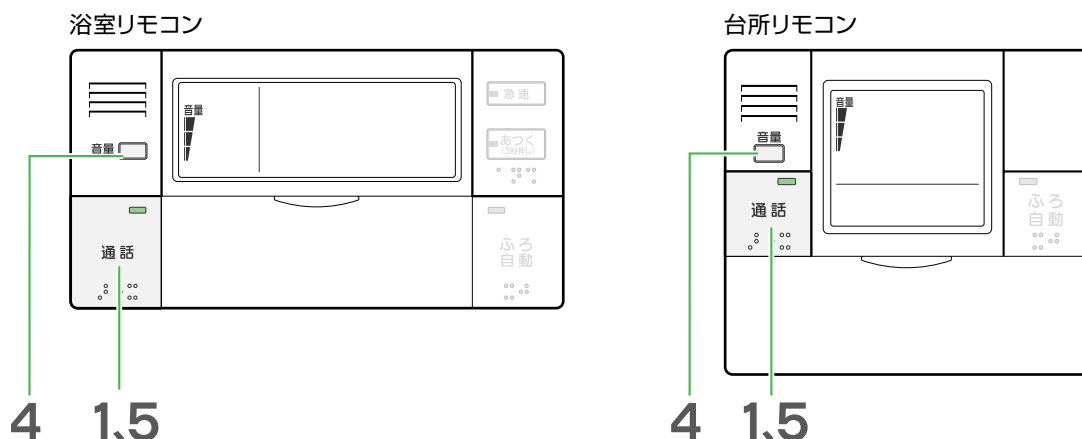
1 たっぷり **を押す**

▶浴槽アダプターからお湯が出ます。
（音声ガイダンス）

- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合、たっぷりは使用できません。
- 途中でやめるときはもう一度「たっぷり」スイッチを押します。

ポイント
- ふろ自動運転中に「ぬるく」スイッチを押した場合、約30分間自動保温を行いません。ただし、追いだき（18）は使用できます。

インターホンを使う

台所リモコンと浴室リモコンの間でインターホンとして会話ができます。
相手側はスイッチを押さなくても会話できます。

例）浴室から呼び出す場合（台所からも呼び出せます。）

浴室リモコン

台所リモコン

1 浴室リモコンの 通話 を押す

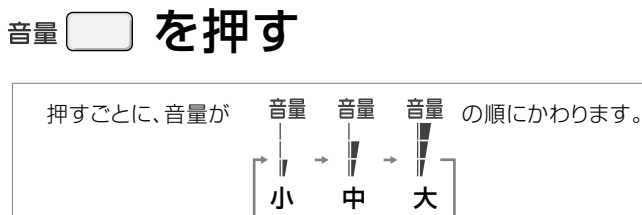
- 通話ランプが点滅します。

2 台所リモコンの呼出音が鳴り、ランプが点灯します。

- 浴室リモコンの呼出音も鳴ります。

3 音量ゲージが表示されたら、そのまま通話できます。

4 通話音量を変えるときは、通話中に 音量 を押す

押すごとに、音量が 音量（小）→ 音量（中）→ 音量（大） の順にかわります。

- 通話中に行なってください。通話中以外に音量スイッチを押すと、音声ガイダンスの音量の変更となります。
- 通話音量は、台所リモコンと浴室リモコンでそれぞれ別々に設定できます。
- 工場出荷時は「大」に設定されています。

5 通話をやめるときはどちらかの 通話 を押す

- 通話ランプが消灯します。音量ゲージも消灯します。
- 通話スイッチを押さなくても約60秒で自動的に終了します。

ポイント

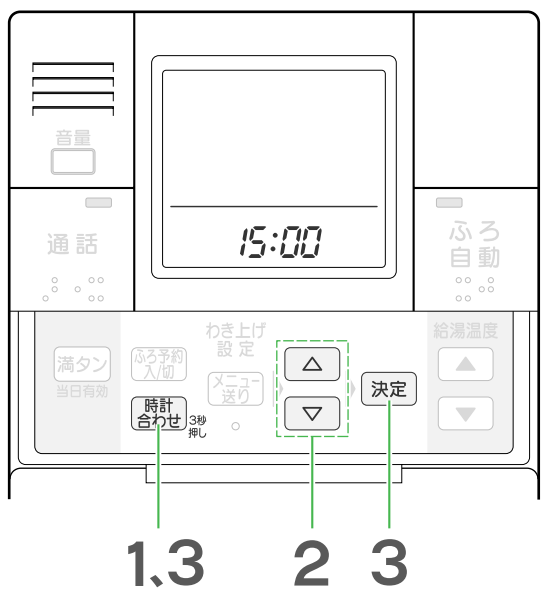
- 通話するときは、リモコンに向かって約30cm程度の距離で話してください。（近すぎると相手側で聞き取りにくくなります。）
- 周囲の環境（ペットの鳴き声やテレビなどの雑音の大きい場所）や会話の仕方（声が小さいなど）によっては、通話が途切れる場合があります。テレビはボリュームを下げるか消音にして通話を行なってください。
- 一度に両方のリモコンで話すとうまく会話ができません。交互に会話してください。
- 通話中は、スイッチを押してもブザー音や音声ガイドは出ません。
- 通話スイッチを連続して押すと雑音が発生することがあります。
- 通話中にハウリング（スピーカーから「ピー」という音が出る）が起きた場合は、通話音量を下げてください。
- サブリモコン（オプション）には、インターホン機能はありません。（呼び出しもできません。）

リモコンに向かって話していない

リモコンに近づきすぎ

時刻を合わせる

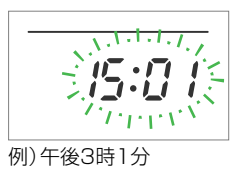
リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。
台所リモコンで設定します。

台所リモコン

1 [時計合わせ] を3秒以上押す

例）午後3時

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- ：点灯、：点滅

2 [△] または [▽] を押して 時刻を合わせる

▶押すごとに、1分間ずつ数字がかわります。
▶押し続けると表示が連続してかわります。

例）午後3時1分

- 表示部の時刻が点滅中に行なってください。

3 [時計合わせ] または [決定] を押す

▶設定完了です。（音声ガイダンス）

- 浴室リモコンには、自動的に設定した時刻が表示されます。

ポイント
- 時計の時刻は停電などにより若干変動します。
- 表示部に「00:00」が点滅している場合は、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。わき上げできません。
- サブリモコンをご使用の場合、サブリモコンでは時刻を設定できません。台所リモコンで設定した時刻がサブリモコンに表示されます。

予約した時間におふろにお湯を入れる

台所リモコンで予約します。

台所リモコン

ポイント
- 当日の「ふろ自動予約」は、ふろ自動予約時刻の1時間以上前に予約してください。1時間以内に予約した場合は予約した時刻に湯はりが完了しない場合があります。
- 水源水圧の変動などにより、湯はり完了時間が予約した時間よりずれることがあります。
- 「ふろ自動予約」は、浴室リモコンでは設定できません。
- 「ふろ自動予約」は、湯はりが終わると自動的に解除されますので、使用するごとに予約をしてください。
- 湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、予約した時刻に湯はりが完了しない場合があります。
- 現在時刻が合っていないと、予約した時刻に湯はりは完了しません。

1 浴槽を確認する

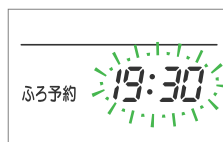
①残った水を排水して、おふろの栓を閉じる
②浴槽にふたをする

- 浴槽に残水があると、水位や温度、時刻がばらつくことがあります。必ず、浴槽を確認してください。

2 ふろ予約 入/切 を押す

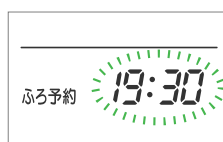
- 時刻は24時間表示です。
- 工場出荷時 は、18:00に設定されています。
- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- :点灯、:点滅

3 時刻が点滅中に △ または ▽ を押して 予約時刻を設定する

▶押し続けると表示が連続してかわります。

例）午後7時30分

- ふろ自動予約時刻の設定は10分刻みです。

4 ふろ予約 入/切 または 決定 を押す

▶設定完了です。（音声ガイダンス）
ふろ自動予約時刻が点灯します。

- 解除するときは、もう一度、「ふろ予約 入/切」スイッチを押します。「ふろ予約」表示が消え、現在時刻表示になります。

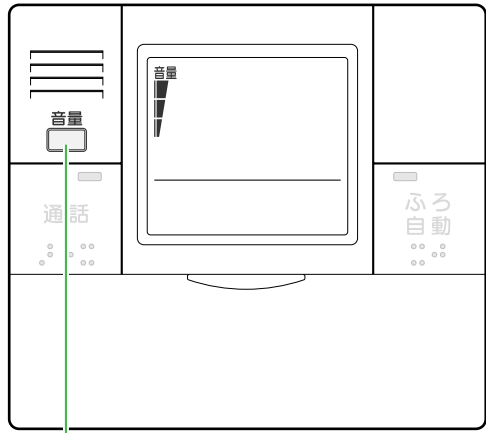
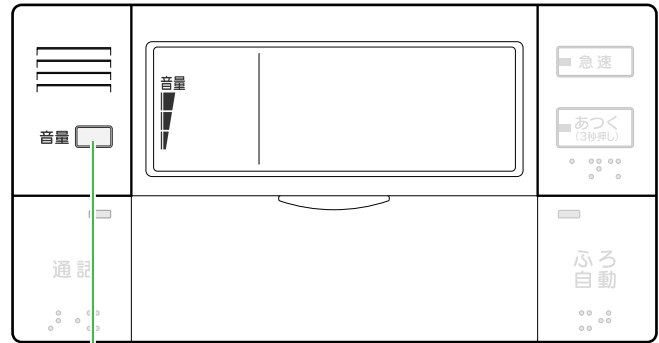
5 予約した時刻になると湯はりが完了し、表示が現在時刻に変わります。

（音声ガイダンス）

音声ガイダンスの音量を調節する

台所、浴室リモコンの音声ガイダンス（操作を音声でガイドする機能）の音量を変えたり、切ることができます。音量は、台所リモコンと浴室リモコンでそれぞれ別々に調節できます。

※サブリモコンも台所リモコンと同手順です。

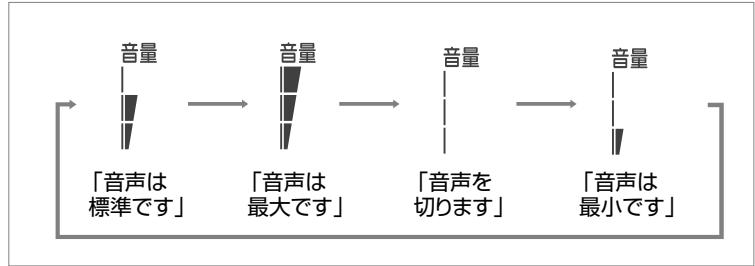
台所リモコン

浴室リモコン

1 音量 を押す

▶現在設定されている声の大きさをお知らせします。
（音声ガイダンス）

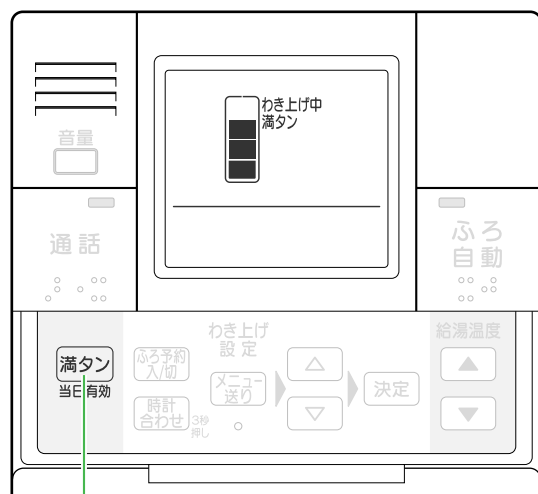
- 通話をしていないときに行なってください。通話中に音量スイッチを押すと、通話音量の変更となります。
- 工場出荷時は「標準」に設定されています。

2 音量確認（手順1）後、10秒以内に 音量 を押す

▶押すごとに、声の大きさをお知らせします。（音声ガイダンス）

- 切（「音声を切ります」）にしても、音量調節を知らせる音声やスイッチ操作音、警告音は消せません。

たくさんお湯を使う（わき増し）

お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。
来客などでたくさんのお湯が必要なときに設定してください。

台所リモコン

1 満タン を押す

▶表示部に「満タン」が表示されます。
▶設定完了です。（音声ガイダンス）

未設定時

設定時

- 解除するときは、もう一度「満タン」スイッチを押します。（満タン表示が消えます。）
- ：点灯

2 お湯が約50L減るとわき増しを開始します。

▶わき増し中は、表示部に「わき上げ中」が表示されます。

わき増し時

わき上げ中
満タン

ポイント

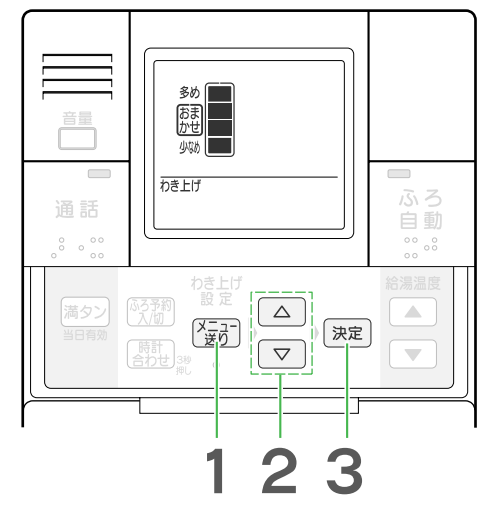
- 満タンわき増しは、一度設定すると、設定したその日（昼間時間帯注）は解除されるまで何回でもタンク全体のわき増しを行います。夜間時間帯注になると自動的に解除されます。
  注.昼間時間帯、夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。
- わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるので電気料金は割高になります。
- 「深夜のみ」モード設定時でもわき増しを行えます。

わき上げモードを設定する

給湯機のわき上げ動作を決めるためのモードです。使い始めは「おまかせ」に、特に使用量が多いと思われる場合は、「多め」に設定することをおすすめします。
また、来客などでたくさんのお湯が必要なときは、「満タン」わき増しをご利用ください。

表示（モード）	わき上げ温度の目安	わき上げ動作内容	注意点
多め	約80～90℃	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。	――
おまかせ	約65～90℃	●季節や過去の使用湯量を学習し、わき上げ温度を適切に設定してわき上げを行います。	●タンク全量をわき上げないことがあります。（学習によりわき上げ量を最小限に調整するためです。） ●わき上げ温度が低い場合、追いだき・自動保温・高温さし湯・給湯温度設定等の各機能に制限が発生することがあります。
少なめ	約65～80℃	●季節や過去の使用湯量から、最小限のわき上げを行います。使用量が多いと不足します。「多め」または「おまかせ」に設定してください。	

注1.運転モードを「深夜のみ」でご使用の場合、お湯が少なくなっても昼間時間帯の自動わき上げを行いません。
注2.ヒートポンプユニットのわき上げ温度は最高90℃ですが、配管の施工条件（長さ・断熱など）と外気温によって、タンク内の温度はわき上げ温度から下がります。
注3.運転モードが「通常モード」や、「深夜のみモード」で「上部」を設定中は、どのわき上げモードを設定しても、お湯が少なくなると昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。ただし、いつもより多めにお湯を使用した場合、昼間わき上げをしてもお湯が足りなくなることがあります。
注4.運転モードを「深夜のみ」でご使用の場合、わき上げ温度の下限は約75℃になります。（「おまかせ」、「少なめ」の場合）

台所リモコン

学習機能付き
季節や過去1週間の使用湯量を計算し、ムダなお湯を作らないよう、効率的にわき上げを行います。

※いつもより多めにお湯を使用した場合、昼間わき上げをしてもお湯が足りなくなることがあります。

1 メニュー送り を押す

▶メニューに「わき上げ」が表示されます。
設定されているモードの □ 枠が点滅します。

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- 工場出荷時は、「おまかせ」に設定されています。
- ：点灯、：点滅

2 △ または ▽ を押して モードを選ぶ

▶ □ 枠が移動します。

3 決定 を押す

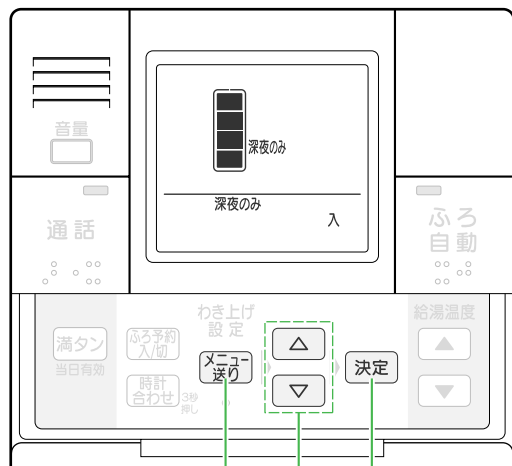
▶設定完了です。（音声ガイダンス）
表示部は時刻表示に戻ります。

- メニュー送り を押しても設定が完了します。（表示が次のメニュー表示となります。）

ポイント ●「おまかせ」、「少なめ」の場合、わき上げ量を少なくするため、タンク内の残湯量が多いときはタンク内の温度が低くなることがあります。

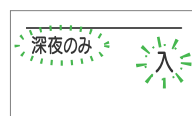
「深夜のみ」のわき上げで使う

「深夜のみ」とは、わき上げを行う時間帯を夜間時間帯のみにするモード設定です。
昼間時間帯のわき上げをとめたい時に設定します。

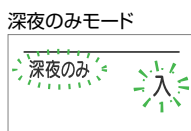
台所リモコン

モード	表示	動作内容と注意点
通常	上部	過去使用熱量から、夜間時間帯のわき上げでお湯がたりないと予想される場合には、湯切れ防止のため、昼間に自動でわき増しを行います。 使い初めはこのモードでご使用ください。
深夜のみ 昼間わき増しあり	上部 深夜のみ	夜間時間帯にわき上げた湯量以上のお湯を使ってしまっても、昼間に約50Lのわき増し（目安:シャワー1人分）を自動的に行います。 「通常モード」では、常に残湯表示が2つ以上点灯しているなど、お湯が余る場合にご使用ください。
深夜のみ	深夜のみ	夜間時間帯のみにわき上げを行ないます。夜間時間帯にわき上げた湯量以上のお湯を使うと、リモコンに「**残湯なし**」が表示され、お湯が使えなくなります。 「通常モード」では、常に残湯表示が2つ以上点灯しているなど、お湯が余る場合にご使用ください。

※「上部」と「深夜のみ」が共に表示されていない場合は通常モードと同じ動作になります。

1 メニュー送り を2回押す

▶メニューに「深夜のみ」が表示されます。

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- ：点灯、：点滅

2 △ または ▽ を押して モードを選ぶ

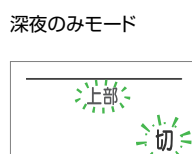
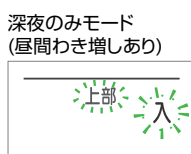
▶ △ を押すと「入（深夜のみモード）」に、▽ を押すと「切（通常モード）」になります。

3 メニュー送り を押す

▶画面に「上部」が表示されます。

4 △ または ▽ を押して モードを選ぶ

▶ △ を押すと「入（上部）」に、▽ を押すと「切」になります。

深夜のみモード（昼間わき増しあり）　深夜のみモード

上部 入　上部 切

5 決定 を押す

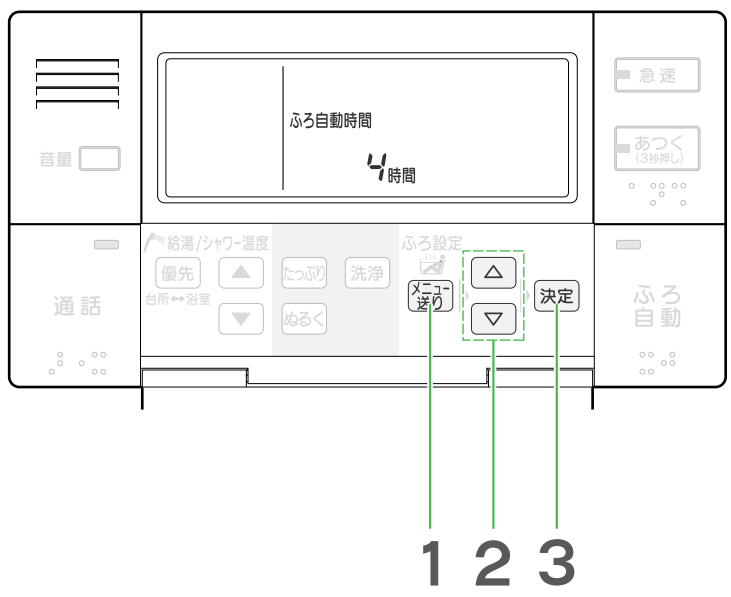
▶設定完了です。（音声ガイダンス）
表示部は時刻表示に戻ります。

- メニュー送り を押しても設定が完了します。（表示が次のメニュー表示となります。）

ポイント
- 万一、湯切れした場合は、満タンわき増しをご利用ください。（P25）
- 深夜のみモードで使用して湯切れする場合は、上部わき増し（「深夜のみ（昼間わき増しあり）モード」）を使用してください。（湯切れの心配がある場合は、通常モードで使用してください。）
- 深夜のみモードを設定していても、外気温度が低い時は、凍結防止のため、昼間でもヒートポンプユニットが動作することがあります。

ふろ自動運転の継続時間を変更する

ふろ自動継続時間を「0～8」時間の間で変更することができます。
自動保温、自動たし湯を行なわないようにするときは、「0」時間を設定してください。

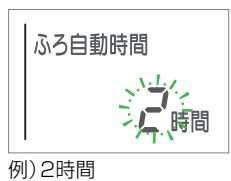
浴室リモコン

1 メニュー送り を3回押す

▶メニューに「ふろ自動時間」が表示されます。

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- 工場出荷時は「4時間」に設定されています。
- :点灯、:点滅

2 △ または ▽ を押して継続時間を変更する

▶ △ を押すと時間が長くなります。
▽ を押すと時間が短くなります。

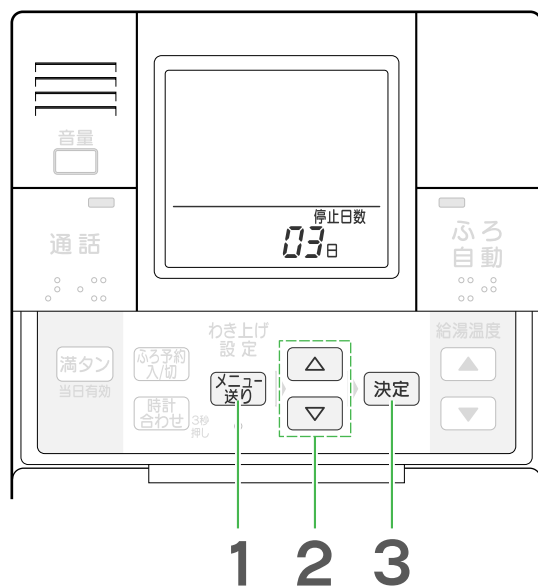
例）2時間

3 決定 を押す

▶設定完了です。（音声ガイダンス）
表示部は時刻表示に戻ります。

- メニュー送り を押しても設定が完了します。

数日間わき上げを停止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだ給湯機のわき上げを停止させ、電気代を節約することができます。

台所リモコン

わき上げ停止日数の決めかた

例）10月1日に出発し、10月4日に帰宅する
3泊4日の旅行の場合

- 出発日（1日）に設定する場合は、停止日数「03」を設定します。
  1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。
  帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

日付	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日
昼間のお湯の使用	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用する

- 出発日の前日に設定する場合は、停止日数「04」を設定します。
  帰宅日には、朝からお湯が使用できますが、出発日にはお湯を使用できません。

〈予定日より早く帰宅した場合〉
まずは停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。その日にお湯を使用するときは、満タンわき増しを使用してください。

1 メニュー送り を4回押す

▶メニューに「停止日数」が表示されます。

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- ：点灯、：点滅

2 △ または ▽ を押して停止日数を決める

▶ △ を押すと日数が進みます。
▽ を押すと日数が戻ります。
（押し続けると、表示が連続してかわります。）

例）4日

- 設定範囲は、「2～15日」、「連続停止」です。

表示	停止日数
--日	連続停止
15日	15日
⟆	
02日	2日
00日	解除

- 連続停止（--）を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。

3 決定 を押す

▶設定完了です。（音声ガイダンス）
設定後は、停止日数が表示されます。

- メニュー送り を押しても設定が完了します。

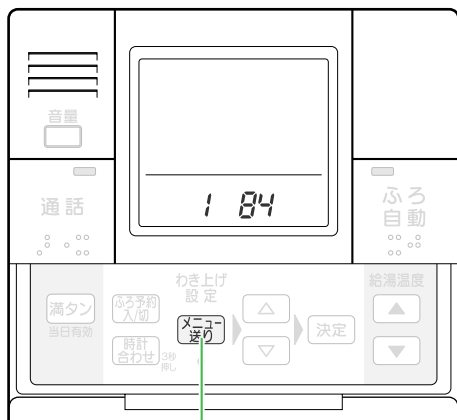
ポイント
- 運転停止中でも配管凍結予防のため、ヒートポンプユニットの運転を行うことがあります。
- 停止期間中に、ふろ自動予約、満タンわき増し、現在時刻の設定を行うと自動解除されます。
- 長期間（1カ月以上）使用しないときは、P62 の手順に従ってください。

こんなこともできます

「メニュー送り」スイッチを使って台所、浴室リモコンで次の操作ができます。

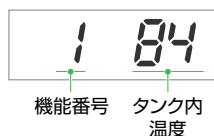
〈台所リモコンからの操作〉

「現在のタンク内温度」や「お湯の使用量」を調べることができます。
また、「電力契約モード（電力契約に合わせて工事店が設定します。）」を確認することができます。

台所リモコン

機能番号	表示の意味
1	現在のタンク内温度
2	昨日の給湯使用量※
3	昨日の追いだき・保温使用量※
4	過去1週間の1日あたりの平均使用量※ 設置後8日間は多めに表示される場合があります。
EP	電力契約モード

※お湯の使用量（エネルギー）を43℃の給湯量で表示しています。毎朝、夜間時間帯終了後に更新されます。また、追いだきはタンク内のお湯の熱を利用するため、実際に蛇口等でお湯を使っていなくても、使用量は多くなります。

1 メニュー送り を3秒以上押す

▶表示部に「現在のタンク内温度」が表示されます。

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。

2 メニュー送り を押して 機能番号を送る

▶押すごとに、番号が進みます。
（1→2→3→4→EP→時刻表示）

- 表示された数字に10をかけた数値が使用量（L）の目安です。
- 表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「24（240L）」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて240L使用したことを表しています。

■電力契約モードの内容（平成19年7月現在）

表示	適用電力制度
EP 01	●東京電力:電化上手　●関西電力:はぴeタイム ●沖縄電力:Eeらいふ
EP 02	●中部電力:Eライフプラン
EP 03	●中国電力:ファミリータイム
EP 04	●北陸電力:エルフナイト10プラス　●九州電力:電化deナイト
EP 05	●東北電力:やりくりナイト8　●東京電力:おトクなナイト8 ●北陸電力:エルフナイト8　●中部電力:タイムプラン ●関西電力:時間帯別電灯　●四国電力:電化deナイト、得トクナイト ●九州電力:時間帯別電灯　●沖縄電力:時間帯別電灯

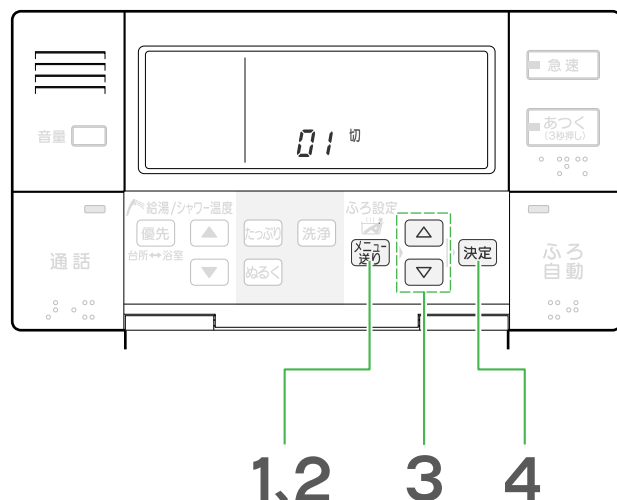
表示	適用電力制度
EP 06	●東北電力:やりくりナイト10、やりくりナイトS ●東京電力:おトクなナイト10●北陸電力:エルフナイト10 ●九州電力:よかナイト10
EP 07	●中国電力:エコノミーナイト
EP 08	●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯22時～6時）
EP 09	●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯23時～7時）
EP 10	●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯24時～8時）

注.お客さまの電力契約と合っていない場合は、設定し直してください。

〈設定方法〉手順2の電力契約画面（EP 表示）で、△ または ▽ を押す

〈浴室リモコンからの操作〉

「高温さし湯量」、「凍結予防運転」、「ふろ自動モード」は以下のように設定を変更できます。

浴室リモコン

機能番号	表示の意味
01	**高温さし湯量の切り替え** 「切」:浴槽温度を約2℃上げるためのお湯が出ます。 「入」:約50Lのお湯が出ます。 (工場出荷時は「切」)
02	**凍結予防運転の設定/解除** 「入」:凍結予防運転の設定 「切」:凍結予防運転の解除 (工場出荷時は「入」、通常は「入」でご使用ください。)
03	**ふろ自動モード** 「切」:自動たし湯有 「入」:自動たし湯停止 (工場出荷時は「切」)

1 メニュー送り を3秒以上押す

▶機能番号が「01」になります。

● 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。

2 メニュー送り を押して

機能番号を送る

▶押すごとに、番号が進みます。
(01→02→03→時刻表示)
(音声ガイダンス)

3 △ または ▽ を押して

設定する

▶ △ を押すと「入」になります。
▽ を押すと「切」になります。

4 決定 を押す

▶設定完了です。(音声ガイダンス)
表示部は時刻表示に戻ります。

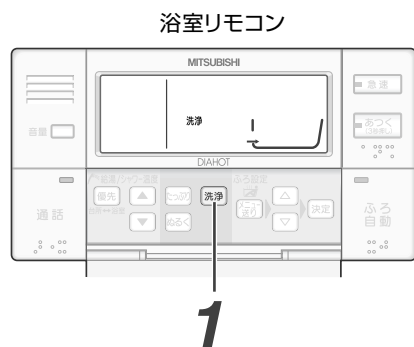
● メニュー送り を押しても設定が完了します。(表示が次のメニュー表示または時刻表示となります。)

洗浄

洗浄には配管にたまった水を押し出す「注水洗浄」と、洗浄剤を使って配管内をきれいにする「循環洗浄」があります。

注水洗浄

おふろの排水時に、毎回行うことをおすすめします。

浴室リモコン

1 洗浄 を押す

▶浴槽アダプターから約8Lの水が出ます。(自動で停止)
(音声ガイダンス)

表示部

注水洗浄中に点滅します。(完了時は消灯)

● :点灯、 :点滅

循環洗浄

1年に2～3回、または汚れが目立つ場合に行なってください。

1.洗浄

①入浴後、ふろ自動運転を「切」にし、お湯を排水せずに浴槽のお湯を残しておく(お湯の目安は浴槽アダプターの中心から約10cm以上です。)

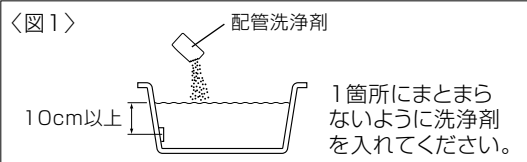
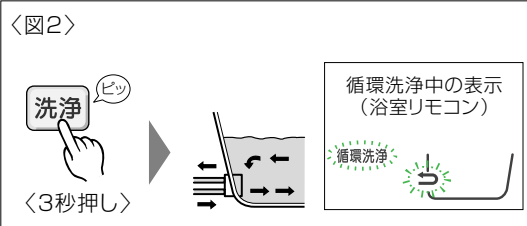
②配管洗浄剤を1袋入れる〈図1〉

③洗浄スイッチを3秒以上押す〈図2〉

- 自動でふろ配管を洗浄します。
  洗浄中は、浴室リモコンに「循環洗浄」表示が出ます。
- 洗浄時間の目安は、約1時間です。洗浄スイッチを押して、洗浄を停止させてください。
  (洗浄スイッチを押さなくても、約6時間で自動停止します。)
- 汚れの落ち具合により、洗浄時間を調節してください。

④洗浄が終わったら、浴槽のお湯を排水し、洗浄スイッチを押す

- 浴槽アダプターから約8Lの水が出ます。

〈図1〉

〈図2〉

2.すすぎ

①おふろの栓を閉じる〈図3〉

②浴槽アダプターがかくれるくらいまで蛇口(シャワー)から水を入れる

③洗浄スイッチを3秒以上押す〈図4〉

- すすぎ時間の目安は、約30分です。(約6時間で自動停止します。)
- すすぎを途中で中止する場合は、洗浄スイッチを押してください。

④すすぎが終わったら、浴槽のお湯を排水し、洗浄スイッチを押す

- 浴槽アダプターから約8Lの水が出ます。

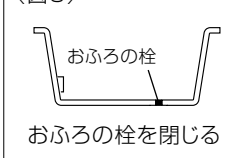
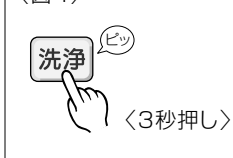
⑤浴槽の掃除を行う

〈図3〉

おふろの栓

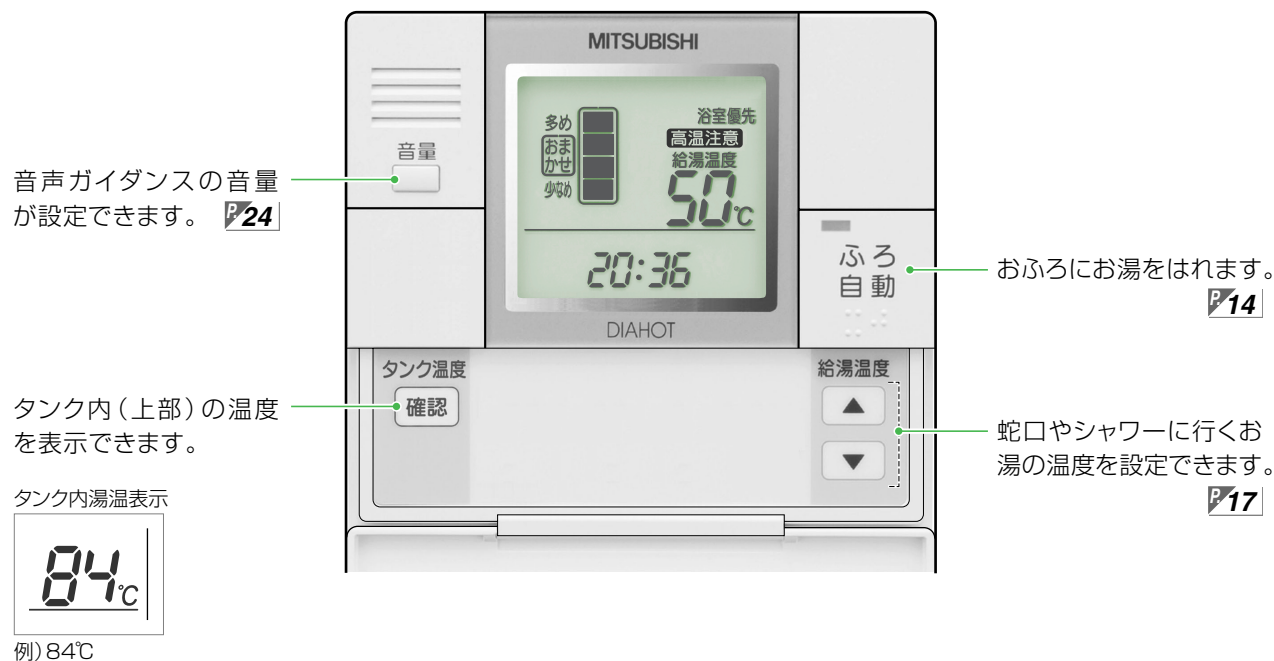
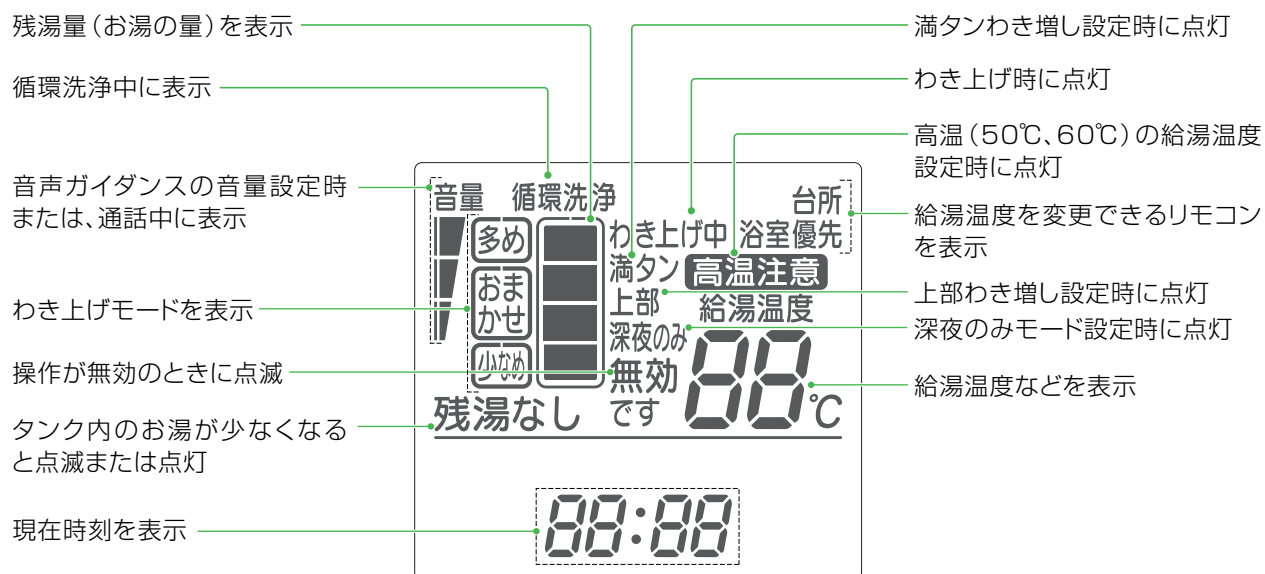
おふろの栓を閉じる

〈図4〉

洗浄 ピッ 〈3秒押し〉

ポイント

- 洗浄剤は、別売の配管洗浄剤(BJ-070K)をご使用ください。市販の洗浄剤を使用する場合は「ジョンソン株式会社製ジャバ(1つ穴用)」に限ります。(ジャバを使用する場合も循環洗浄の手順は上記の通りに行なってください。安全に関するご注意などは、ジャバに付属の説明書をお読みください。)
- 循環洗浄を行なっても汚れが落ちない場合は、もう一度循環洗浄を行なってください。

サブリモコンをご使用の場合

サブリモコン（オプション）（フタを開けた状態です。）

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

リモコンのはたらき ラウンドリモコン

台所リモコン（フタを開けた状態です。）

音声ガイダンスの音量、通話音量を設定できます。 P43 P46

浴室リモコンと通話できます。 P43

夜間時間帯のみわき上げるモードです。 P50

わき上げモードが設定できます。 P49

現在のタンク内（上部）の湯温を表示します。 P51

電力契約モードを選ぶときに使用します。 P54

タンク内の湯のわき増しができます。 P48

数日間給湯機のわき上げを停止するとき使用します。 P53

バックライトは操作後、約1分間点灯します。

おふろにお湯をはれます。 P36

蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P39

現在時刻やふろ自動予約時刻を設定したり、変更するとき使用します。 P44 P45

現在時刻を設定したり、変更するとき使用します。 P44

きめた時間におふろにお湯をはれます。 P45

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

わき上げ時に点灯

残湯量（お湯の量）を表示

わき上げモードを表示

循環洗浄中に表示

現在時刻、ふろ予約時刻、停止日数などを表示

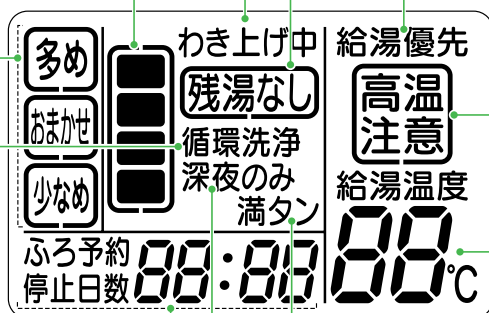
深夜のみモード設定時に点灯

タンク内のお湯が少なくなると点滅または点灯

給湯温度が変更可能になると点灯（点灯していないときは変更できません。）

高温（50℃、60℃）の給湯温度設定時に点灯

給湯温度などを表示

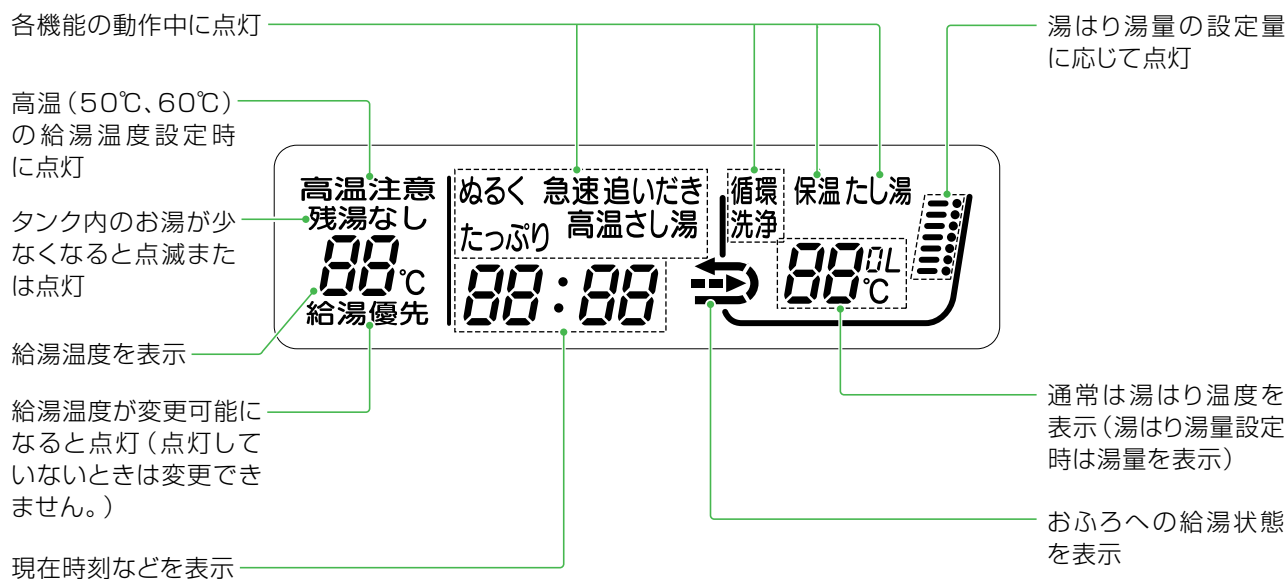
満タンわき増し設定時に点灯

残湯量の見かた（詳細は P71）

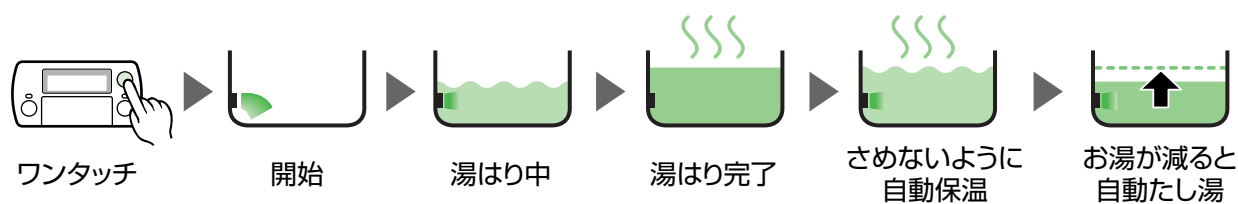
お湯は、ほぼ満タンです。	使用した分のお湯が減っています。	お湯が少なくなっています。	湯切れです。

ポイント

- 「■」は45℃以上のお湯を表しています。自然放熱などでタンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
- 使用できるお湯の量は、タンク容量で異なります。

浴室リモコン（フタを開けた状態です。）

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

おふろにお湯を入れる

この給湯機は、おふろにワンタッチの自動運転（ふろ自動運転）でお湯を入れて使います。
浴室リモコン、台所リモコン、サブリモコン（オプション）で操作できます。

湯はり終了後、設定された時間の間、おふろの温度とお湯の量を保つ運転（「自動保温」、「自動たし湯」）が働きます。
「自動保温」、「自動たし湯」の継続時間は変更することができます。（P.52）
また、「自動保温」のみ行い、「自動たし湯」は行わないようにすることもできます。（P.55）

ポイント

- **リモコンに「残湯なし」が点灯している場合は、湯はりできません。**
- **湯はり中に蛇口からおふろにお湯（水）を入れないでください。**
- **湯はり中にシャワーや台所などでお湯を使うと湯はりの時間が長くなります。**
- 湯はりが完了する前に（ふろ自動ランプが点滅しているときに）おふろに入らないでください。浴槽の水位が高くなったり、あふれたりすることがあります。
- 湯はり中に**水位確認のため湯はりを中断することがあります。**ふろ自動ランプが点滅していれば正常です。
- 湯はり時間は、配管施工上の条件や水源水圧、蛇口などの使用状況により、多少変わることがあります。また、**設置後１週間程度は、浴槽形状を学習するため、湯はり時間が長くなります。**
- 湯はり中またはふろ自動中にポンプが空気を吸い込む音がする場合があります。湯はりが終わると音はしなくなります。異常ではありません。
- 「自動保温」、「自動たし湯」中に、浴槽の湯を使用するなどして浴槽アダプター付近まで水位が低下すると、「ふろ自動」ランプが消灯したり、「ふろ自動」ランプ点灯中でも「自動たし湯」が働かなくなります。

こんなときは?

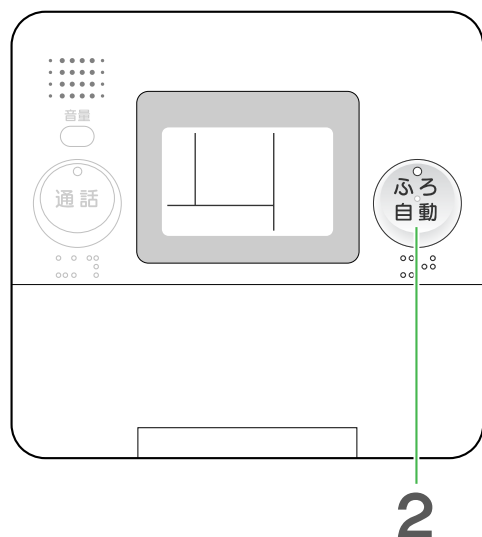
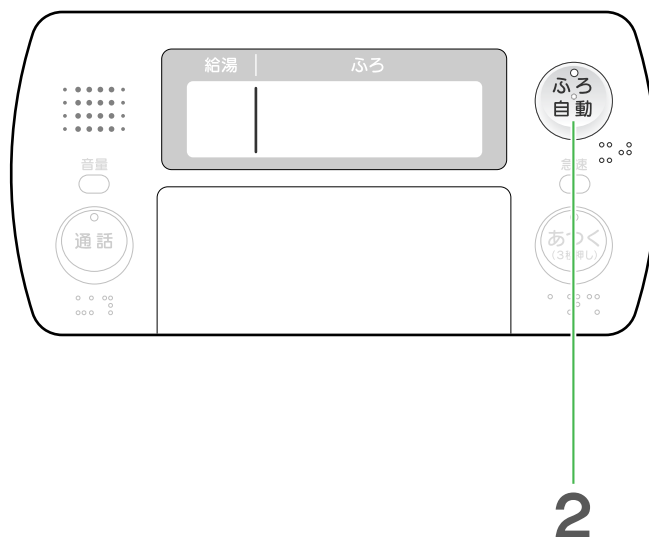
❏ジェットバスをご使用の場合

ジェットバスを使用する場合は、ふろ自動を「切」にしてください。

❏浴槽に残り湯があるときに「ふろ自動スイッチ」を押すと、残り湯の量によって湯はり動作が異なります。

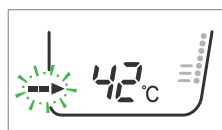
残り湯の状態によって、湯があふれたり、湯が足されないなど、湯量が安定しないことがありますので、**残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。**

残り湯が浴槽アダプターより多いとき	〈湯はり前〉 設定湯量 浴 槽 アダプター → 〈湯はり完了時〉 設定湯量	設定温度まで追いだきしてから、設定湯量までお湯をたします。通常の湯はりと同様に、設定した温度･水位で湯はりが完了します。なお、湯はり開始時に設定湯量以上の湯がある場合は、呼び水分だけお湯が増えます。
残り湯が浴槽アダプター付近のとき	〈湯はり前〉 設定湯量 浴 槽 アダプター → 〈湯はり完了時〉 設定湯量	お湯はりが途中で中断されたり、残り湯分だけお湯が増える場合があります。残り湯を排水してから湯はりを行なってください。
残り湯が浴槽アダプターより少ないとき	〈湯はり前〉 設定湯量 浴 槽 アダプター → 〈湯はり完了時〉 設定湯量	湯はり完了時に、残り湯分だけ、お湯が増えます。また、温度も設定した温度より低くなります。（お湯があふれる場合がありますので残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。）

台所リモコン

浴室リモコン

1 おふろにに水がないことを確認し、おふろの栓、ふたをする

● 湯はり温度、量の設定方法 P38

2 を押す

▶湯はりが始まります。（ 音声ガイダンス）

● 湯はり中は、ふろ自動ランプが点滅します。

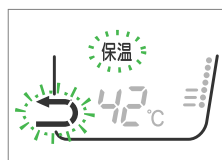
● 途中でやめるときは、もう一度「ふろ自動」スイッチを押します。

● ：点灯、：点滅

3 湯はりが終わると 音声でお知らせします

（音声ガイダンス）

● ふろ自動ランプが点灯にかわります。

4 設定された時間の間、「自動保温」、「自動たし湯」が働きます。

自動保温中

自動たし湯中

● 「自動保温」、「自動たし湯」は設定時間になると終了（ふろ自動ランプ消灯）しますが、再度、ふろ自動スイッチを押すと延長されます。

● 「自動保温」、「自動たし湯」中に「残湯なし」が点灯すると、ふろ自動ランプが消灯します。

● 「自動保温」、「自動たし湯」中に浴槽水位が浴槽アダプター付近まで低下すると「自動たし湯」が行われなくなったり、ふろ自動ランプが消灯します。「たっぷり」を押し、残り湯を浴槽アダプターより多くしてから、ふろ自動スイッチを押してください。

☐ 入浴後は、ふろ自動ランプが消灯していることを確認し、**お湯を排水して、注水洗浄（P56）を行う**

● 排水するときは、ふろ自動ランプが消灯（ふろ自動ランプが点灯している場合は、ふろ自動スイッチを押してください。）していることを確認してください。自動たし湯機能がはたらき、お湯がムダになります。

湯はりの温度と量を決める

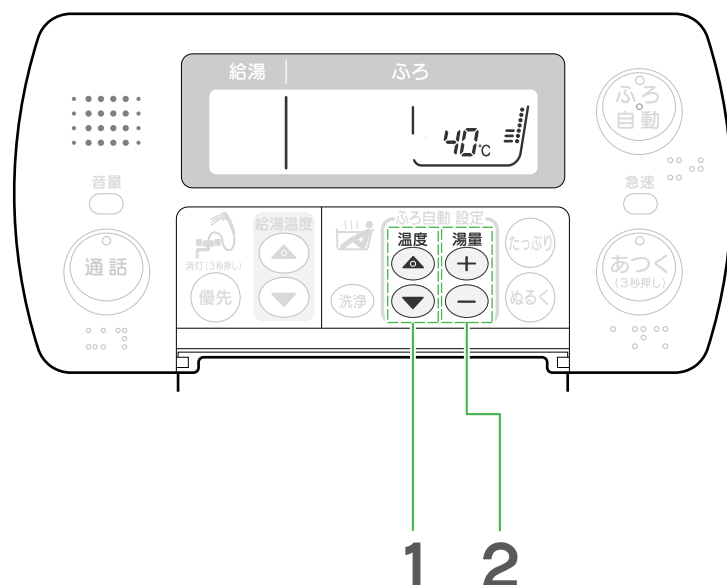
最初の数回は、ご家庭のおふろにあわせる設定をしてください。
適切な温度と量が決まれば次回からこの操作は不要となります。

浴室リモコン

●設定できる範囲

温度	35℃～48℃（1℃刻み） 工場出荷時は42℃
量	100L～400L（20L刻み） 工場出荷時は180L

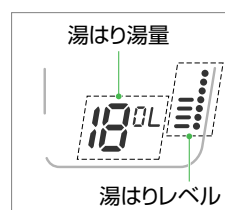
※温度、量は目安です。

1 ▲または▼を押して 湯はりの「温度」を設定する

▶押すごとに、1℃ずつ温度がかわります。
（音声ガイダンス）

例）42℃

● 湯はりの「温度」は目安温度です。
浴槽内の温度は配管や浴槽に熱をうばわれるため、それよりも少し下がることがあります。湯はり後の浴槽内温度が低い場合は、次回から湯はりの温度を上げて湯はりをしてください。

2 ＋または－を押して 湯はりの「量」を設定する

▶押すごとに、20Lずつ量がかわります。
（音声ガイダンス）

例）180L

● 表示部には、湯はり湯量と、湯はりレベルの2通りが表示されます。（湯はり湯量は、約10秒間表示された後、湯はり温度に変わります。）

湯はり湯量と湯はりレベルの関係

● 湯はりレベルは設定に対しての目安です。実際の水位を表すものではありません。

ポイント

● 湯はりの「湯量」を設定するときは、最初は浴槽に対して少なめに設定してください。ただし、浴槽アダプターが水中にかくれるように設定してください。
● 湯はり中やふろ自動中でも、湯はり温度、湯量を変更できます。ただし、湯はりが完了したときの湯温、湯量が設定と異なる場合があります。

「蛇口・シャワー」の温度を決める

蛇口へ行くお湯の温度は、「優先権」のあるリモコンで設定します。

台所リモコン

浴室リモコン

●設定できる範囲

35℃～48℃（1℃刻み）／50℃／60℃
工場出荷時は50℃

※温度は目安です。

1 お湯の温度を設定するリモコンを選ぶ

浴室リモコンの

 を押す

▶押すごとに、優先権が移ります。
優先権をもったリモコンが音声でお知らせします。
（音声ガイダンス）

- 優先権をもったリモコンは、「給湯温度を変更できます。」と音声でお知らせします。一方、リモコンに「優先権」がなくなったときは警告音が鳴ります。給湯温度の表示を確認し、お湯を使用してください。
- 優先権を台所リモコンから浴室リモコンに変更した場合、給湯温度は、以前に浴室リモコンで設定された温度となります。
  一方、優先権を浴室リモコンから台所リモコンに変更した場合、給湯温度は変わりません。

2 優先権のあるリモコンの給湯温度設定スイッチの

 または を押して

温度を設定する

▶ ▲を押すと温度が高くなります。
▼を押すと温度が低くなります。

▶設定完了です。（音声ガイダンス）

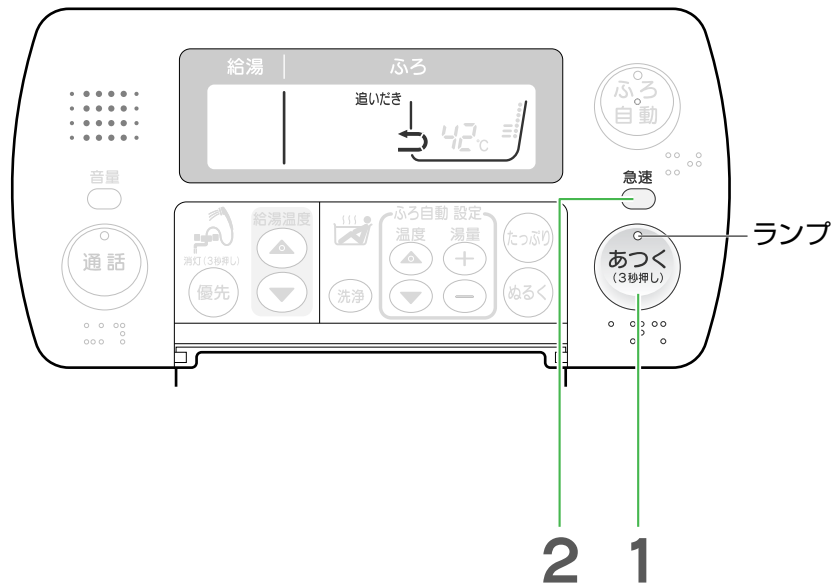
- 給湯温度を50℃または60℃に設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。（60℃に設定した場合は各リモコンから警告音、音声ガイダンスも流れます。）

ポイント

- タンク内の温度が低いとき（特にわき上げモードが「少なめ」の場合など）は、設定より低い温度のお湯が出ることがあります。
- 蛇口から出るお湯は、配管部分の放熱によって低くなることがあります。
- 給湯中に湯はり、自動たし湯、たっぷり、ぬるく、高温さし湯をすると給湯湯温が多少変動することがあります。
- サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度設定を使用するお湯の温度より10℃以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60℃にし、水と混ぜてご使用ください。

追いだきをする

おふろの量をかえずに、温度を上げたいとき（追いだき）に使います。
湯はりをするときに設定した温度になるまで追いだきを行います。（自動で停止）

浴室リモコン

⚠警告
- 入浴するときは、浴槽の温度を指先等で確認する
- 追いだきをするときは、浴槽アダプターから離れる

（やけどの原因）

1

▶追いだきが始まります。浴槽アダプターから熱いお湯が出ます。
（音声ガイダンス）

- 動作中は、あつくランプが点灯（緑色）します。
- 途中でやめるときは、もう一度、「あつく」スイッチを押します。（あつくランプ、表示部の「追いだき」「⮌」が消灯します。）
- ：点灯、：点滅

〈すばやくあたためたいときは〉

2

追いだき中に

急速

を押す

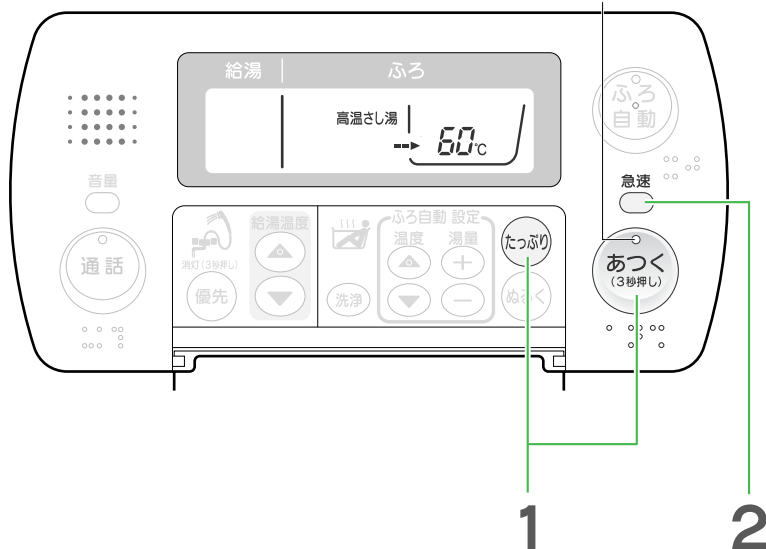
▶急速追いだきが始まります。浴槽アダプターから熱いお湯が出ます。

- 動作中は、あつくランプの点灯が緑色から赤色に変わります。
- 急速追いだき中に、もう一度、急速スイッチを押すと、通常の追いだきに戻ります。（あつくランプが赤色から緑色に変わり、表示部の「急速」が消灯します。）

ポイント

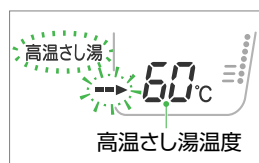
- 追いだきはタンク内のお湯の熱を利用しています。そのため、使い方によっては、お湯が不足したり、追いだきができなくなることがありますので、深夜のみモードを解除（P.50）、わき上げモード（P.49）を「多め」または「おまかせ」に設定してご使用いただくことをおすすめします。
- すでにおふろの温度が設定温度以上になっているときに押すと、現在のおふろの温度から約2℃上げるように（最高で48℃まで）追いだきを行います。
- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合は、タンク内に追いだき可能なお湯がないため、追いだきは使用できません。
- タンク内の湯温が低いと、追いだきが途中で停止（「残湯なし」表示）することがあります。

熱いお湯をたす（高温さし湯）

おふろの温度を、約2℃上げるために必要な熱いお湯が入ります。（最大で約60L、自動で停止）

⚠警告
- 高温さし湯をするときは、浴槽アダプターから離れる
- 浴槽にお湯がないときは、あつくスイッチを押さない

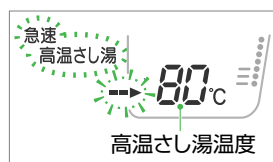
（やけどの原因）

1 と あつく（3秒押し） を 同時に3秒以上押す

▶高温さし湯が始まります。浴槽アダプターから**熱いお湯**（約60℃）が出ます。
（音声ガイダンス）

- 動作中は、あつくランプが点灯（緑色）します。
- 途中でやめるときは、もう一度、「あつく」スイッチを押します。（あつくランプ、表示部の「高温さし湯」「➡」が消灯します。）
- ：点灯、：点滅

〈すばやくあたためたいときは〉

2 高温さし湯中に 急速 を押す

▶急速高温さし湯が始まります。浴槽アダプターから**熱いお湯**（約80℃）が出ます。

- 動作中は、あつくランプの点灯が緑色から赤色に変わります。
- もう一度、急速スイッチを押すと、通常の高温さし湯に戻ります。（あつくランプが赤色から緑色に変わり、表示部の「急速」が消灯します。）

ポイント
- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合や浴槽の残り湯が浴槽アダプターより少ない場合は、高温さし湯は使用できません。
- タンク内の温度が低いとき（特に、わき上げモードが「少なめ」の場合など）や配管などの条件によっては、設定より低い温度のお湯が出ることがあります。
- 高温さし湯の湯量をいつでも多めに固定したい場合は、P.55 の手順で「50Lに固定する(たっぷり高温さし湯)」ことができます。
- シャワー等を使用しているときに高温さし湯を行うと、高温さし湯の温度が設定より低い温度になることがあります。

ぬるくする、お湯をたす

「ぬるく」スイッチを押すと、おふろの温度を約1℃下げるために必要な水が浴槽に入ります。
（最大で約20L、自動で停止）
「たっぷり」スイッチを押すと、湯はりをするときに設定した温度のお湯（約20L）が浴槽に入ります。
（自動で停止）

浴室リモコン

〈ぬるくしたいときは〉

1 **を押す**

▶浴槽アダプターから水が出ます。
（音声ガイダンス）

- 途中でやめるときはもう一度「ぬるく」スイッチを押します。
- ：点灯、：点滅

〈お湯をたしたいときは〉

1 **を押す**

▶浴槽アダプターからお湯が出ます。
（音声ガイダンス）

- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合、たっぷりは使用できません。
- 途中でやめるときはもう一度「たっぷり」スイッチを押します。

ポイント
- ふろ自動運転中に「ぬるく」スイッチを押した場合、約30分間自動保温を行いません。
ただし、追いだき（P40）は使用できます。

ご使用の前に
スクエアリモコンの使いかた
ラウンドリモコンの使いかた
こんなとき
故障かな

インターホンを使う

台所リモコンと浴室リモコンの間でインターホンとして会話ができます。
相手側はスイッチを押さなくても会話できます。

例）浴室から呼び出す場合（台所からも呼び出せます。）

浴室リモコン

台所リモコン

4　1,5　　4　1,5

1 浴室リモコンの

 を押す

● 通話ランプが点滅します。

2 台所リモコンの呼出音が鳴り、ランプが点灯します。

3 そのまま通話できます。

4 通話音量を変えるときは、通話中に

音量 を押す

押すごとに、音量が 大→小 の順にかわります。

● 通話中に行なってください。通話以外に音量スイッチを押すと、音声ガイダンスの音量の変更となります。
● 通話音量は、台所リモコンと浴室リモコンでそれぞれ別々に設定できます。
● 工場出荷時は「大」に設定されています。

5 通話をやめるときはどちらかの

 を押す

● 通話ランプが消灯します。
● 通話スイッチを押さなくても約60秒で自動的に終了します。

ポイント

● 通話するときは、リモコンに向かって約30cm程度の距離で話してください。（近すぎると相手側で聞き取りにくくなります。）
● 周囲の環境（ペットの鳴き声やテレビなどの雑音の大きい場所）や会話の仕方（声が小さいなど）によっては、通話が途切れる場合があります。テレビはボリュームを下げるか消音にして通話を行なってください。
● 一度に両方のリモコンで話すとうまく会話ができません。交互に会話してください。
● 通話中は、スイッチを押してもブザー音や音声ガイドは出ません。
● 通話スイッチを連続して押すと雑音が発生することがあります。
● 通話中にハウリング（スピーカーから「ピー」という音が出る）が起きた場合は、通話音量を下げてください。
● サブリモコン（オプション）には、インターホン機能はありません。（呼び出しもできません。）

リモコンに向かって話していない

リモコンに近づきすぎ

時刻を合わせる

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。
台所リモコンで設定します。

台所リモコン

1 を3秒以上押す

時計合わせ（3秒押し）

例）午後3時

- 各スイッチ操作は約10秒以内に行なってください。
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- :点灯、:点滅

2 すすむ または もどる を押して時刻を合わせる

▶押すごとに、1分間ずつ数字がかわります。
▶押し続けると表示が連続してかわります。

例）午後3時1分

- 表示部の時刻が点滅中に行なってください。

3 を押す

▶設定完了です。（音声ガイダンス）

- 浴室リモコンには、自動的に設定した時刻が表示されます。

ポイント

- 時計の時刻は停電などにより若干変動します。
- 表示部に「00:00」が点滅している場合は、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。わき上げできません。
- サブリモコンをご使用の場合、サブリモコンでは時刻を設定できません。台所リモコンで設定した時刻がサブリモコンに表示されます。

予約した時間におふろにお湯を入れる

台所リモコンで予約します。

台所リモコン

ポイント

- 当日の「ふろ自動予約」は、ふろ自動予約時刻の1時間以上前に予約してください。1時間以内に予約した場合は予約した時刻に湯はりが完了しない場合があります。
- 水源水圧の変動などにより、湯はり完了時間が予約した時間よりずれることがあります。
- 「ふろ自動予約」は、浴室リモコンでは設定できません。
- 「ふろ自動予約」は、湯はりが終わると自動的に解除されますので、使用するごとに予約をしてください。
- 湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、予約した時刻に湯はりが完了しない場合があります。
- 現在時刻が合っていないと、予約した時刻に湯はりは完了しません。

1 浴槽を確認する

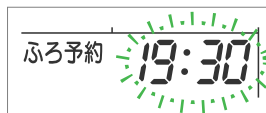
①残った水を排水して、おふろの栓を閉じる
②浴槽にふたをする

- 浴槽に残水があると、水位や温度、時刻がばらつくことがあります。必ず、浴槽を確認してください。

2 ふろ予約 入/切 を押す

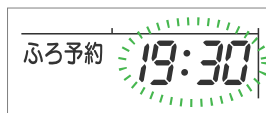
- 時刻は24時間表示です。
- 工場出荷時 は、18:00に設定されています。
- 各スイッチ操作は約10秒以内に行なってください。
- :点灯、:点滅

3 時刻が点滅中に すすむ または もどる を押して 予約時刻を設定する

▶押し続けると表示が連続してかわります。

例）午後7時30分

- ふろ自動予約時刻の設定は10分刻みです。

4 ふろ予約 入/切 を押す

▶設定完了です。（音声ガイダンス）
ふろ自動予約時刻が点灯します。

- 解除するときは、もう一度、「ふろ予約 入/切」スイッチを押します。「ふろ予約」表示が消え、現在時刻表示になります。

5 予約した時刻になると湯はりが完了し、表示が現在時刻に変わります。

（音声ガイダンス）

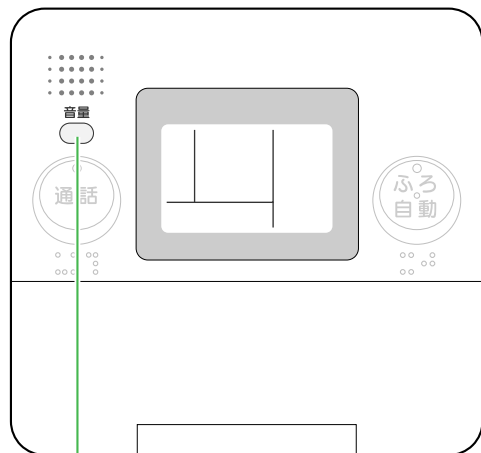
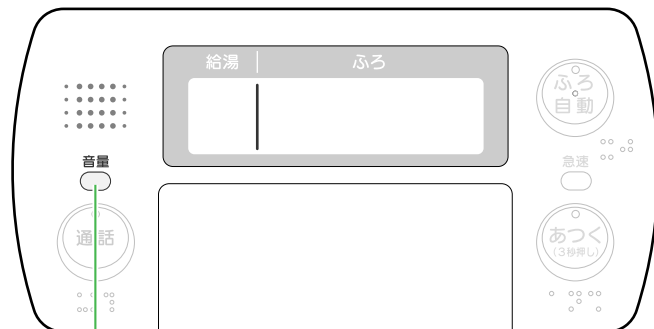
音声ガイダンスの音量を調節する

台所、浴室リモコンの音声ガイダンス（操作を音声でガイドする機能）の音量を変えたり、切ることができます。音量は、台所リモコンと浴室リモコンでそれぞれ別々に調節できます。

※サブリモコンには、音声ガイダンス機能はありません。

台所リモコン

浴室リモコン

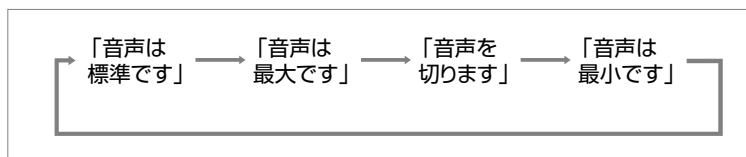
1,2

1,2

1 音量 を押す

▶現在設定されている声の大きさをお知らせします。（音声ガイダンス）

- 通話をしていないときに行なってください。通話中に音量スイッチを押すと、通話音量の変更となります。
- 工場出荷時は「標準」に設定されています。

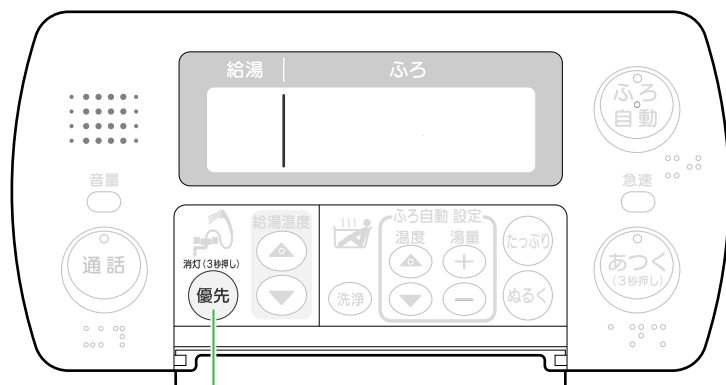
2 音量確認（手順1）後、10秒以内に 音量 を押す

▶押すごとに、声の大きさをお知らせします。（音声ガイダンス）

- 切（「音声を切ります」）にしても、音量調節を知らせる音声やスイッチ操作音、警告音は消せません。

リモコンの表示を消す

浴室リモコンの表示を「使用しないときは消灯させる」ことができます。（自動消灯モード）
「自動消灯モード」設定時は、給湯機を使用しないまま約10分間たつと表示が消灯します。

浴室リモコン

1

消灯（3秒押し）

を3秒以上押す

▶浴室リモコンの表示が消灯し、自動消灯モードとなり、表示が消えます。
（音声ガイダンス）

● 自動消灯モードが設定されていても、お湯を使ったり、いずれかのスイッチを押すと、再び画面が点灯します。

〈常時点灯モードに戻すとき〉

1

いずれかのスイッチを押して リモコンを点灯させる

2

消灯（3秒押し）

を3秒以上押す

▶常時点灯モードになります。
（音声ガイダンス）

ポイント

- 消灯中は最初のスイッチ操作を受け付けません。いずれかのスイッチを押して表示を点灯させてから、操作を行なってください。
- 自動消灯モード中でも、以下の場合は表示が点灯します。

●お湯を使用したとき	●ふろ自動運転中	●音声ガイダンスが流れたとき	●いずれかのスイッチ操作をしたとき
●インターホン動作中	●エラーが表示されたとき		

たくさんお湯を使う（わき増し）

お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。
来客などでたくさんのお湯が必要なときに設定してください。

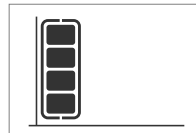
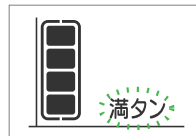
台所リモコン

1 満タン を押す

▶表示部に「満タン」が表示されます。
▶設定完了です。（音声ガイダンス）

未設定時

設定時

満タン

- 解除するときは、もう一度「満タン」スイッチを押します。（満タン表示が消えます。）
- ：点灯

2 お湯が約50L減るとわき増しを開始します。

▶わき増し中は、表示部に「わき上げ中」が表示されます。

わき増し時

ポイント

- 満タンわき増しは、一度設定すると、設定したその日（昼間時間帯[注]）は解除されるまで何回でもタンク全体のわき増しを行います。夜間時間帯[注]になると自動的に解除されます。
  注.昼間時間帯、夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。
- わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるので電気料金は割高になります。
- 「深夜のみ」モード設定時でもわき増しを行えます。

わき上げモードを設定する

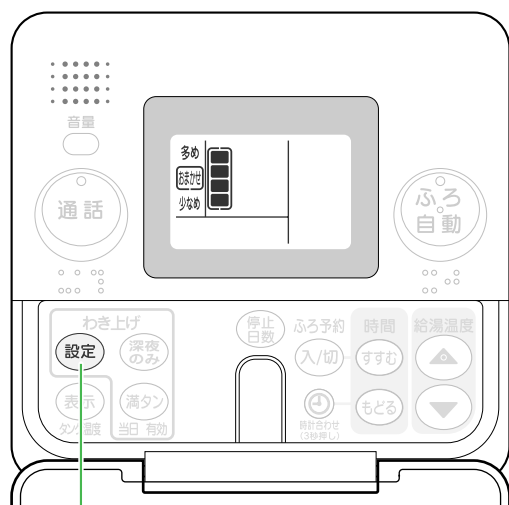
給湯機のわき上げ動作を決めるためのモードです。**使い始めは「おまかせ」に、特に使用量が多いと思われる場合は、「多め」に設定することをおすすめします。**
また、来客などでたくさんのお湯が必要なときは、「満タン」わき増しをご利用ください。

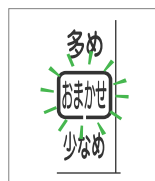
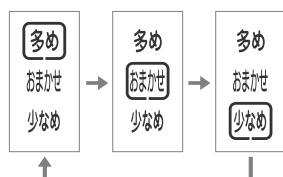
表示（モード）	わき上げ温度の目安	わき上げ動作内容	注意点
多め	約80～90℃	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。	――
おまかせ	約65～90℃	●季節や過去の使用湯量を学習し、わき上げ温度を適切に設定してわき上げを行います。	●タンク全量をわき上げないことがあります。（学習によりわき上げ量を最小限に調整するためです。） ●わき上げ温度が低い場合、追いだき･自動保温･高温さし湯･給湯温度設定等の各機能に制限が発生することがあります。
少なめ	約65～80℃	●季節や過去の使用湯量から、最小限のわき上げを行います。使用量が多いと不足します。「多め」または「おまかせ」に設定してください。	

注1.運転モードを「深夜のみ」でご使用の場合、お湯が少なくなっても昼間時間帯の自動わき上げを行いません。
注2.**ヒートポンプユニットのわき上げ温度は最高90℃ですが、配管の施工条件（長さ･断熱など）と外気温によって、タンク内の温度はわき上げ温度から下がります。**
注3.運転モードが「通常モード」の場合、どのわき上げモードを設定しても、お湯が少なくなると昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。
ただし、いつもより多めにお湯を使用した場合、昼間わき上げをしてもお湯が足りなくなることがあります。
注4.運転モードを「深夜のみ」でご使用の場合、わき上げ温度の下限は約75℃になります。（「おまかせ」、「少なめ」の場合）

台所リモコン

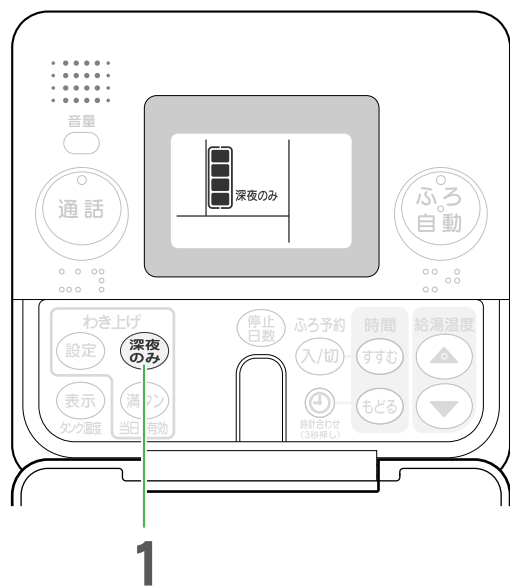
学習機能付き
季節や過去1週間の使用湯量を計算し、ムダなお湯を作らないよう、効率的にわき上げを行います。

※いつもより多めにお湯を使用した場合、昼間わき上げをしてもお湯が足りなくなることがあります。

1 設定 を押す

▶押すごとに表示が切り換わります。
▶ ▢ 枠が移動します。
▶設定完了です。（音声ガイダンス）

● 工場出荷時は、「おまかせ」に設定されています。
● ：点灯

ポイント ●「おまかせ」、「少なめ」の場合、わき上げ量を少なくするため、タンク内の残湯量が多いときはタンク内の温度が低くなることがあります。

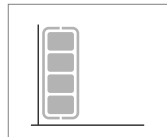
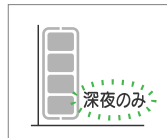
「深夜のみ」のわき上げで使う

「深夜のみ」とは、わき上げを行う時間帯を夜間時間帯のみにするモード設定です。
昼間時間帯のわき上げをとめたい時に設定します。

台所リモコン

モード	表示	動作内容と注意点
通常モード		過去の使用湯量からお湯がたりないと予想される場合には、湯切れ防止のため、昼間時間帯にも自動でわき増しを行います。深夜のみモードに比べ、昼間時間帯でもわき増し行うため、**電気代が高めになることがあります。**
深夜のみモード	深夜のみ	電気代の安い夜間時間帯のみわき上げるモードです。**ただし、夜間時間帯にわき上げた湯量以上のお湯を昼間使うと、タンク内のお湯がなくなり、リモコンに「残湯なし」が表示されたり、お湯が使えなくなったりします。**

1 深夜のみ を押す

▶表示部に「深夜のみ」が表示されます。

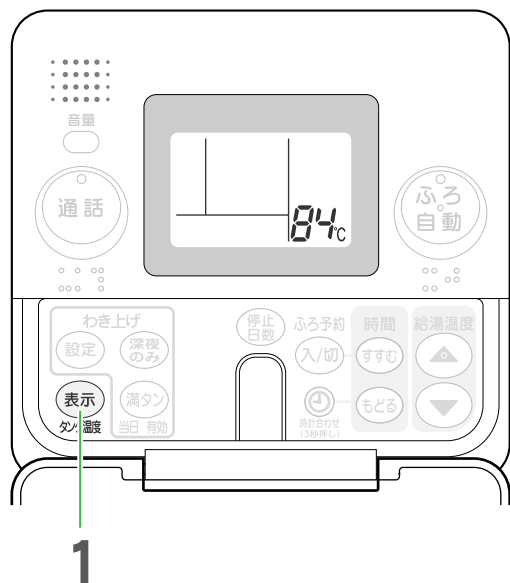
▶**設定完了です。**（音声ガイダンス）

● ：点灯

ポイント

- 万一、湯切れした場合は、満タンわき増しをご利用ください。（P48）
- 「深夜のみモード」を設定する場合の目安
  「通常モード」でご使用いただき、お湯がいつもあまるなど、使用量が少ない場合（残湯量表示部に「残湯なし」が表示（点滅または点灯）されない場合）がご使用の目安です。「残湯なし」が表示される場合は、「通常モード」でご使用ください。
  ※上記の内容は目安ですので、深夜のみモードで使用して湯切れする場合は通常モードで使用してください。
- 深夜のみモードを設定していても、外気温度が低い時は、凍結防止のため、昼間でもヒートポンプユニットが動作することがあります。

タンク内の湯温を表示する

貯湯タンクユニットのタンク内上部の温度を表示します。

台所リモコン

1 表示 を押す

▶「給湯温度」が消え、タンク内の湯温表示になります。
約10秒間表示後、給湯温度を表示します。

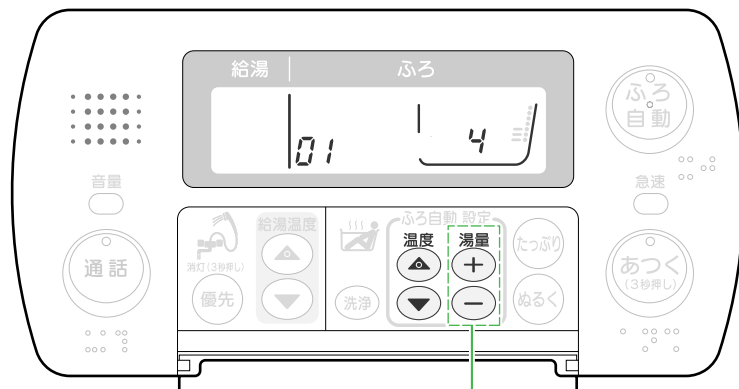
● ：点灯

ポイント

- わき上げ温度はヒートポンプユニットでわき上げるお湯の温度です。途中の配管の放熱などにより、タンクにたまるお湯の温度は、わき上げ温度よりも低くなります。（ヒートポンプ配管が、断熱材20mm、外気温度マイナス7℃、15m配管の場合、配管での放熱ロスによる温度低下は約5℃です。外気温度、湿度等の条件、各部の放熱ロスを含めると、この条件でタンクに貯まるお湯の温度は、わき上げ温度よりも約10℃低下することがあります。）
- タンク内の湯温は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、わき上げ温度よりも低く表示されることがあります。（通常、温度の低下は、1時間に約1℃ですが、外気温度によってはそれ以上低下することがあります。）
- わき上げ中は、タンク内の湯温表示が変動することがあります。

ふろ自動運転の継続時間を変更する

ふろ自動継続時間を「0～8」時間の間で変更することができます。
自動保温、自動たし湯を行なわないようにするときは、「0」時間を設定してください。

浴室リモコン

1 ＋ と − を同時に3秒以上押す

▶機能番号が「01」になります。

機能番号

- 工場出荷時は「4時間」に設定されています。
- 操作できない場合（同時に押せない場合）は、ふろ自動設定の「ふろ湯量＋」を押しながら「ふろ湯量－」を3秒以上押してください。
- ：点灯、：点滅

2 ＋ または − を押して設定する

▶ ＋ を押すと時間が長くなります。
− を押すと時間が短くなります。

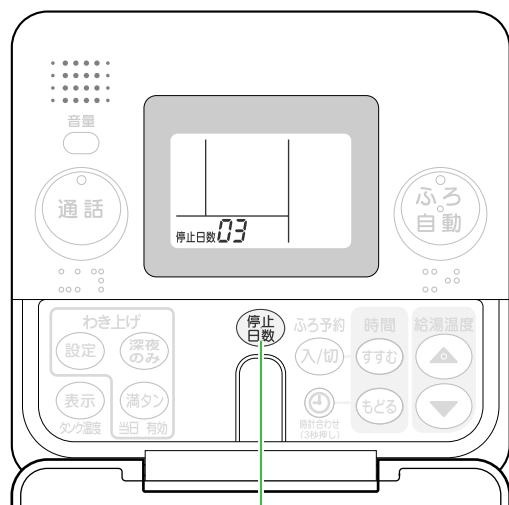
▶設定完了です。（音声ガイダンス）
表示部は時刻表示に戻ります。

例）2時間

- 手順2で、10秒以上スイッチ操作がない場合、表示部は時刻表示に戻ります。

数日間わき上げを停止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだ給湯機のわき上げを停止させ、電気代を節約することができます。

台所リモコン

わき上げ停止日数の決めかた

例）10月1日に出発し、10月4日に帰宅する
3泊4日の旅行の場合

- 出発日（1日）に設定する場合は、停止日数「03」を設定します。
  1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。
  帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

日付	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日
昼間のお湯の使用	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用する

- 出発日の前日に設定する場合は、停止日数「04」を設定します。
  帰宅日には、朝からお湯が使用できますが、出発日にはお湯を使用できません。

〈予定日より早く帰宅した場合〉
まずは停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。その日にお湯を使用するときは、満タンわき増しを使用してください。

1 停止日数 を押す

▶「停止日数」が表示されます。

- ：点灯

2 設定する日数が表示されるまで 停止日数 を押す

▶押すごとに表示部の停止日数が進みます。（押し続けると、表示が連続して進みます。）

▶設定完了です。（音声ガイダンス）
設定後は、停止日数が表示されます。

例）4日

- 設定範囲は、「2～15日」、「連続停止」です。

表示	停止日数
--	連続停止
15	15日
∫	
02	2日
13:50 現在時刻表示	解除

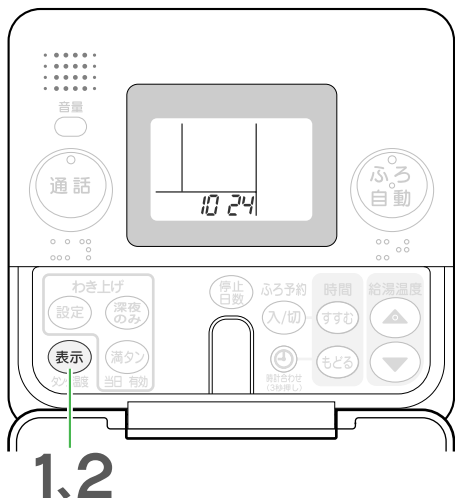
- 連続停止（--）を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。

ポイント
- 運転停止中でも配管凍結予防のため、ヒートポンプユニットの運転を行うことがあります。
- 停止期間中に、ふろ自動予約、満タンわき増し、現在時刻の設定を行うと自動解除されます。
- 長期間（1カ月以上）使用しないときは、P.62 の手順に従ってください。

こんなこともできます

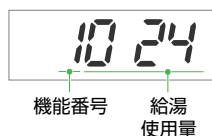
〈台所リモコンからの操作〉

「お湯の使用量」を調べることができます。
また、「電力契約モード（電力契約に合わせて工事店が設定します。）」を確認することができます。

台所リモコン

機能番号	表示の意味
1	昨日の給湯使用量※
2	昨日の追いだき・保温使用量※
3	過去1週間の1日あたりの平均使用量※ 設置後8日間は多めに表示される場合があります。
EP	電力契約モード

※お湯の使用量（エネルギー）を43℃の給湯量で表示しています。毎朝、夜間時間帯終了後に更新されます。また、追いだきはタンク内のお湯の熱を利用するため、実際に蛇口等でお湯を使っていなくても、使用量は多くなります。

1 表示 を3秒以上押す

▶表示部に「昨日の給湯使用量」が表示されます。

● 各スイッチ操作は約10秒以内に行なってください。

2 表示 を押して機能番号を送る

▶押すごとに、番号が進みます。
（1→2→3→EP→時刻表示）

● 表示された数字に10をかけた数値が使用量（L）の目安です。
● 表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「24（240L）」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて240L使用したことを表しています。

■電力契約モードの内容（平成19年7月現在）

表示	適用電力制度
EP 01	● 東京電力:電化上手　● 関西電力:はぴeタイム ● 沖縄電力:Eeらいふ
EP 02	● 中部電力:Eライフプラン
EP 03	● 中国電力:ファミリータイム
EP 04	● 北陸電力:エルフナイト10プラス　● 九州電力:電化deナイト
EP 05	● 東北電力:やりくりナイト8　● 東京電力:おトクなナイト8 ● 北陸電力:エルフナイト8　● 中部電力:タイムプラン ● 関西電力:時間帯別電灯　● 四国電力:電化deナイト、得トクナイト ● 九州電力:時間帯別電灯　● 沖縄電力:時間帯別電灯

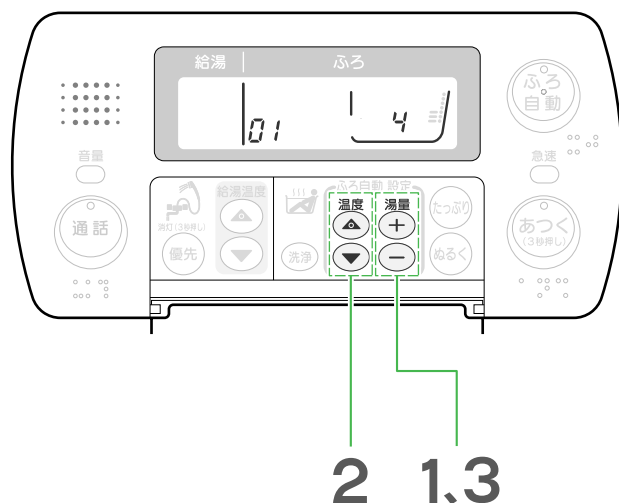
表示	適用電力制度
EP 06	● 東北電力:やりくりナイト10、やりくりナイトS ● 東京電力:おトクなナイト10 ● 北陸電力:エルフナイト10 ● 九州電力:よかナイト10
EP 07	● 中国電力:エコノミーナイト
EP 08	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯22時～6時）
EP 09	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯23時～7時）
EP 10	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯24時～8時）

注.お客さまの電力契約と合っていない場合は、設定し直してください。

〈設定方法〉手順2の電力契約画面（EP 表示）で、すすむ または もどる を押し、表示 で決定

〈浴室リモコンからの操作〉

「ふろ自動継続時間」、「高温さし湯量」、「凍結予防運転」、「ふろ自動モード」は以下のように設定を変更できます。

浴室リモコン

機能番号	表示の意味
01	ふろ自動継続時間の設定（詳しくは P52 ）
02	**高温さし湯量の切り替え** 「0」:浴槽温度を約2℃上げるためのお湯が出ます。 「1」:約50Lのお湯が出ます。 （工場出荷時は「0」）
03	**凍結予防運転の設定／解除** 「1」:凍結予防運転の設定 「0」:凍結予防運転の解除 （工場出荷時は「1」、通常は「1」でご使用ください。）
04	**ふろ自動モード** 注 「0」:自動たし湯有 「1」:自動たし湯停止 （工場出荷時は「0」）

注.ふろ自動運転中に操作した場合は、次回から有効になります。

1 ＋ と － を同時に3秒以上押す

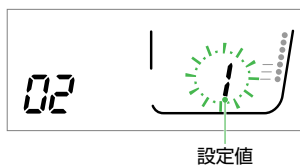
▶機能番号が「01」になります。

- 操作できない場合（同時に押せない場合）は、ふろ自動設定の「ふろ湯量＋」を押しながら「ふろ湯量－」を3秒以上押してください。
- :点滅

2 ▲ または ▼ を押して機能番号を選ぶ

▶押すごとに、番号が進みます。
（→01→02→03→04→）
（音声ガイダンス）

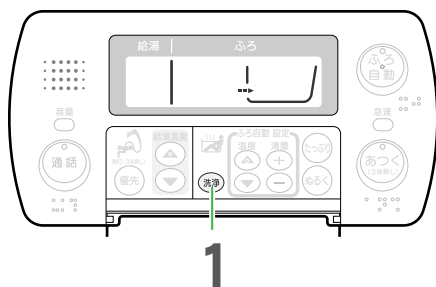
3 ＋ または － を押して設定する

▶設定完了です。（音声ガイダンス）
表示部は時刻表示に戻ります。

- 手順2、3で、10秒以上スイッチ操作がない場合、表示部は時刻表示に戻ります。

洗浄

洗浄には配管にたまった水を押し出す「注水洗浄」と、洗浄剤を使って配管内をきれいにする「循環洗浄」があります。

注水洗浄

おふろの排水時に、毎回行うことをおすすめします。

浴室リモコン

1 洗浄 **を押す**

▶浴槽アダプターから約8Lの水が出ます。(自動で停止)
(音声ガイダンス)

注水洗浄中に点滅(完了時は消灯)

● ◌:点灯、◌:点滅

循環洗浄

1年に2～3回、または汚れが目立つ場合に行なってください。

1.洗浄

①入浴後、ふろ自動運転を「切」にし、お湯を排水せずに浴槽のお湯を残しておく(お湯の目安は浴槽アダプターの中心から約10cm以上です。)

②配管洗浄剤を1袋入れる〈図1〉

③洗浄スイッチを3秒以上押す〈図2〉

- 自動でふろ配管を洗浄します。
  洗浄中は、浴室リモコンに「循環洗浄」表示が出ます。
- 洗浄時間の目安は、約1時間です。洗浄スイッチを押して、洗浄を停止させてください。
  (洗浄スイッチを押さなくても、約6時間で自動停止します。)
- 汚れの落ち具合により、洗浄時間を調節してください。

④洗浄が終わったら、浴槽のお湯を排水し、洗浄スイッチを押す

- 浴槽アダプターから約8Lの水が出ます。

2.すすぎ

①おふろの栓を閉じる〈図3〉

②浴槽アダプターがかくれるくらいまで蛇口(シャワー)から水を入れる

③洗浄スイッチを3秒以上押す〈図4〉

- すすぎ時間の目安は、約30分です。(約6時間で自動停止します。)
- すすぎを途中で中止する場合は、洗浄スイッチを押してください。

④すすぎが終わったら、浴槽のお湯を排水し、洗浄スイッチを押す

- 浴槽アダプターから約8Lの水が出ます。

⑤浴槽の掃除を行う

〈図4〉
洗浄
ピッ
〈3秒押し〉

- 洗浄剤は、別売の配管洗浄剤(BJ-070K)をご使用ください。市販の洗浄剤を使用する場合は「ジョンソン株式会社製ジャバ(1つ穴用)」に限ります。(ジャバを使用する場合も循環洗浄の手順は上記の通りに行なってください。安全に関するご注意などは、ジャバに付属の説明書をお読みください。)
- 循環洗浄を行なっても汚れが落ちない場合は、もう一度循環洗浄を行なってください。

サブリモコンをご使用の場合

サブリモコン（オプション）（フタを開けた状態です。）

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

お手入れと点検

日常のお手入れ

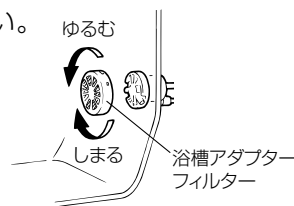
❑浴槽アダプターのお手入れ

浴槽のお湯を排水した後に行います。お手入れは、こまめに行なってください。

①浴槽アダプターフィルターを外し、水洗いする

歯ブラシなどを使用すると、細部の汚れがおちます。

②元どおりに取付ける

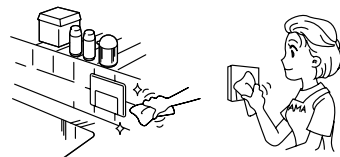
取付けがゆるいと、運転中に外れ、故障の原因になります。

ポイント ●浴槽アダプターの角部や突起で手、指などにけがをしないようにしてください。

❑時刻の確認

時刻がずれていると電気料金が高くなってしまいますので、1カ月に1回程度確認を行なってくだい。ずれている場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。（スクエアリモコンP22、ラウンドリモコンP44）

❑リモコンのお手入れ

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

ポイント ●ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。変形や変色の原因になります。

1年に2～3回程度のお手入れと点検

❑漏電遮断器の動作点検

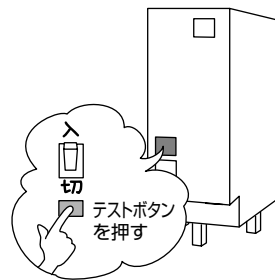
漏電遮断器の点検は、電源供給中に行なってください。

①操作カバーを開け、テストボタンを押す

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。

②必ず電源レバーを上げ、「入」に戻す

⚠警告	漏電遮断器の動作を確認する（感電の原因）

ポイント ●電源レバーが「切」にならない場合は、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑逃し弁の点検

動作点検と水漏れ点検を行います。

〈動作点検〉 逃し弁のレバーを上げて逃し弁を開き、排水口から水（お湯）が出ることを確認します。水（お湯）が出れば正常です。

〈水漏れ点検〉 わき上げをしていないとき（台所リモコンに「わき上げ中」が表示されていないとき）、排水口から水（お湯）が出ていないかを確認します。水（お湯）が出ていなければ正常です。水（お湯）が出ている場合は、逃し弁のレバーを数回、上下に動かしてください。

⚠警告	点検時は、配管に手を触れない（やけどの原因）

⚠注意	逃し弁の点検をする タンクや配管が破裂してやけどの原因になります。

ポイント ●逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。（点検時は、転倒しないよう注意してください。）

●動作点検、水漏れ点検を行って正常ではない場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❏配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店(販売店)にご連絡ください。特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行なってください。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

⚠注意	配管を点検をする マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

ポイント ●本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店(販売店)へご連絡ください。

❏洗浄剤を使ってふろ配管をきれいにする(循環洗浄)

1年に2〜3回、または汚れが目立つ場合は、洗浄剤を使って循環洗浄を行なってください。
(スクエアリモコン P32、ラウンドリモコン P56)

❏貯湯タンクのお手入れ

①給水配管専用止水栓を閉じる
②逃し弁のレバーを上げる
③排水栓を約1〜2分間開く

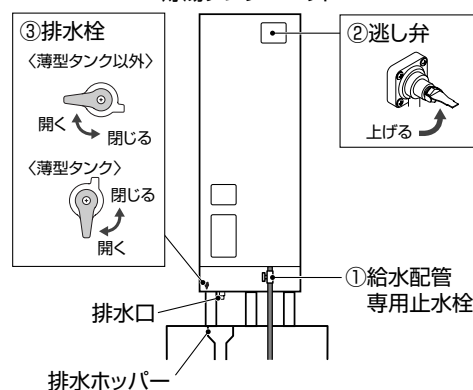
タンクの下部にたまった汚れを排水します。
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

※〈薄型タンク〉の排水栓の取付位置は、P11をご覧ください。

④汚れがなくなったら排水栓を閉じる
汚れが多い場合は、数回繰り返します。
⑤給水配管専用止水栓を開く
⑥排水口から勢いよく水が出たら、逃し弁のレバーを下げる

貯湯タンクユニット
③排水栓
〈薄型タンク以外〉
開く 閉じる
〈薄型タンク〉
閉じる 開く
②逃し弁
上げる
①給水配管専用止水栓
排水口
排水ホッパー

⚠警告	排水時はお湯に手を触れない(やけどの原因)

ポイント
● **給水配管専用止水栓の取付位置が不明な場合は、据付工事店へご連絡ください。**
● わき上げ中(台所リモコンに「わき上げ中」が表示されているとき)は行わないでください。
● タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管(溝)のゴミつまりなども点検してください。ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため据付工事店(販売店)へご連絡ください。(有償)

わき上げ中の表示

凍結防止

寒い季節になったら、凍結防止処置（凍結防止ヒーターのプラグを入れる、凍結予防運転を設定する）が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損したり、リモコンにエラーが表示されたりすることがあります。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）据付工事店（販売店）へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。

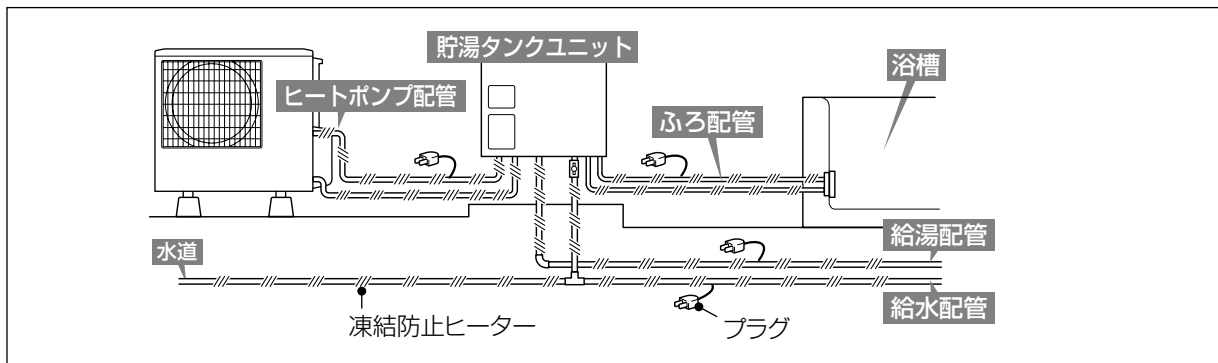
⚠注意

- 凍結防止処置の確認をする
  凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

ポイント

- 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの凍結防止のため、タンク内にお湯がない場合、ヒートポンプユニットを動作させて凍結防止運転を行います。（運転停止日数が設定されている場合や運転モードが「深夜のみ」に設定されている場合でも、凍結防止のため動作することがあります。）

❑凍結防止ヒーター（市販品）を使う

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。

ポイント

- 配管が凍結した場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑凍結予防運転（浴槽の残り湯循環）

入浴後、排水せずにおふろのお湯を残しておくと自動で残り湯を断続的に循環して凍結予防を行います。凍結するおそれのある場合は、必ず、凍結防止ヒーターでの凍結防止も行なってください。

ポイント

- 凍結予防運転はふろ自動運転が「切」のときに作動します。
- 外部の配管を含めて循環させているため、動作中は冷たい水が出ることがあります。
- 浴槽に水がない状態でも凍結予防運転は動作するため、動作音がしたり、浴槽アダプターから水が出たりします。
- 「残り湯循環」を行なった次の日は、残り湯を排水してから、湯はりを行なってください。
- 凍結予防運転を行なわないように設定することができます。（スクエアリモコンP.31、ラウンドリモコンP.55）ただし、凍結するおそれがありますのでご注意ください。

停電・断水時など

❑停電したとき

この給湯機はメモリ機能がついていますのでお客さまが設定した「時刻」や「わき上げ温度」などは記憶されています。**ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。**

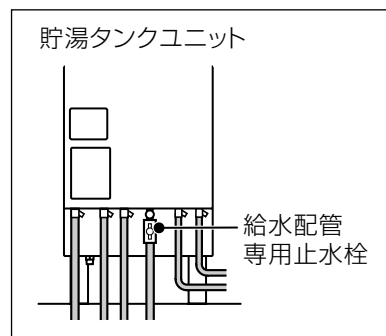
- **停電終了後、リモコンの設定は、停電前の設定に戻ります。**
- **わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。**

ポイント
- 正確な時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。
- 湯はり中の停電

停電時間20分以内	自動的に湯はりを再開します。
停電時間20分を越えたとき	いったん、浴槽の湯を全部抜いてから、再度、ふろ自動運転スイッチを押して湯はりを行なってください。（浴槽に湯が残っていると、湯はりを再開したときに設定温度・水位が保てなくなります。）

❑断水したとき

①断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓を閉じてください。（閉じると給湯機からのお湯が止まります。）閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯タンクユニットのストレーナー部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

②工事が終了したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。

❑給湯をとめるとき

湯水混合栓のパッキンの交換などで、給湯機からの給湯をとめるときは、水道の元栓と給水配管専用止水栓を閉じてください。

ポイント
- パッキン交換などの作業を行う場合、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから作業を行なってください。

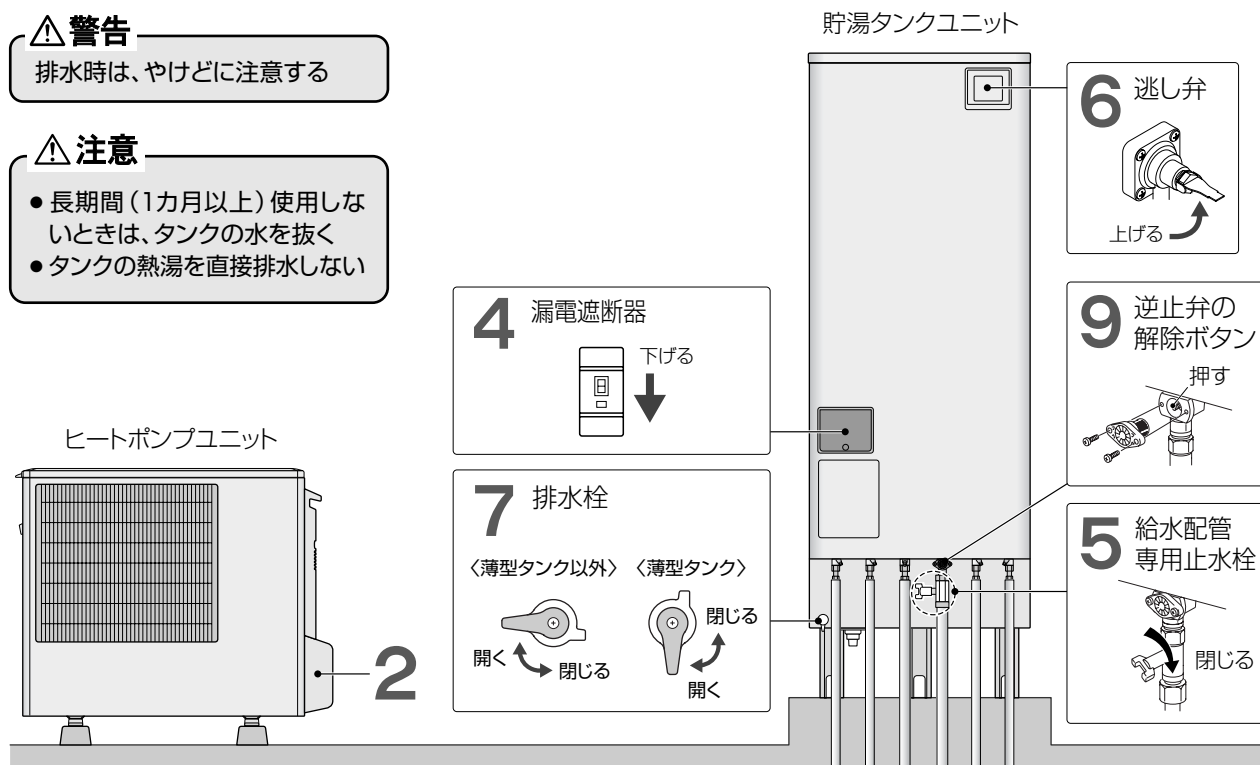
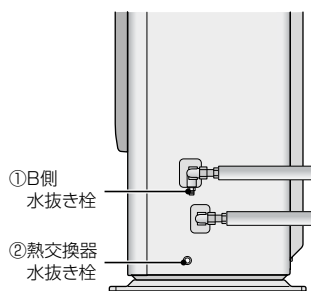
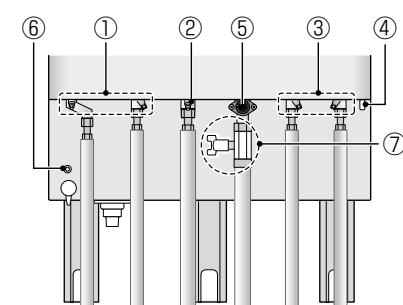
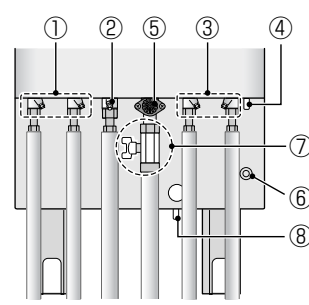
長期間使用しない

長期間（1カ月以上）使用しないときは、運転を止め貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットの水を抜きます。また、凍結による不具合防止のため、給湯機の通電を行なわないときは、下記要領で水抜きを行なってください。水抜きを行わないと凍結により機器が破損することがあります。

⚠警告

排水時は、やけどに注意する

⚠注意

- 長期間（1カ月以上）使用しないときは、タンクの水を抜く
- タンクの熱湯を直接排水しない

※〈薄型〉は、P.11 をご覧ください。

①	ヒートポンプ配管用水抜き栓	⑤	ストレーナー
②	給湯配管用水抜き栓	⑥	非常用取水栓
③	ふろ配管用水抜き栓	⑦	給水配管専用止水栓
④	ふろ循環ポンプ用水抜き栓	⑧	ヒートポンプ給水配管用水抜き栓

「⑦給水配管専用止水栓」が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。

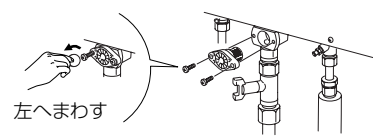
水抜き栓の開きかた

〈ヒートポンプユニット〉
①B側水抜き栓
②熱交換器水抜き栓

〈貯湯タンクユニット〉
①ヒートポンプ配管用
②給湯配管用
③ふろ配管用

〈貯湯タンクユニット〉
④ふろ循環ポンプ用
⑧ヒートポンプ給水配管用

⑤ストレーナーの外しかた

コインなどで開けられます。

	手順	補足
1	**前日から準備できる（タンクのお湯を抜くことがわかっている）場合、わき上げ停止日数を「2日」に設定し、わき上げを停止する**	●あらかじめ前日に設定しておけば、ムダにお湯をわき上げることがなくなります。 ●わき上げ停止日数の設定方法 スクエアリモコン: P29 ラウンドリモコン: P53
2	**ヒートポンプユニットの配管カバーを外す（貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの前面カバーも外す）**	●配管カバーの外しかた: P9 ●脚部カバーの外しかた: P10 P11
3	**タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓（例えば台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す**	●熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。
4	**貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを下げ、「切」にする**	
5	**給水配管専用止水栓を閉じる** 貯湯タンクユニットへの給水を止めます。	
6	**貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる** タンクへ空気を取り入れます。	
7	**貯湯タンクユニットの排水栓を開く** タンクの水（お湯）を抜きます。水が抜けるまでに約1時間かかります。〈薄型〉は、約2時間～2時間20分かかります。	●排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。 ●排水直後に逃し弁のレバーを下げないでください。
8	**タンクの排水が終わったら、機器の水抜き（図に示す各ユニットの水抜き栓、非常用取水栓を開く）をする** 配管の水（お湯）を抜きます。容器などで受けて排水します。	
9	**給水配管のストレーナーを外し、逆止弁の解除ボタンを押す** 配管の水（お湯）を抜きます。容器などで受けて排水します。	●**水が飛び散る場合がありますので、ご注意ください。**
10	**手順8、9完了後、1時間程度放置してから、水抜き栓、非常用取水栓、排水栓を閉じ、ストレーナーを取り付ける**	
11	**手順2で外したヒートポンプユニットの配管カバーを取り付ける**	●手順2で外した脚部カバーの前面カバーも取り付けてください。

ポイント
- 排水直後に逃し弁のレバーを下げないでください。タンクが負圧になり破損する原因となります。（逃し弁のレバーは再び使用するときまで下げないでください。）
- 再び使用するときは、排水栓、水抜き栓が閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる（P64）を行なってください。

タンクに水を入れる

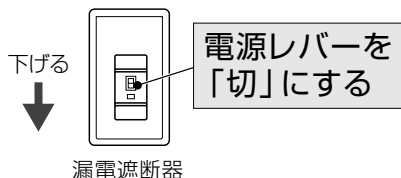
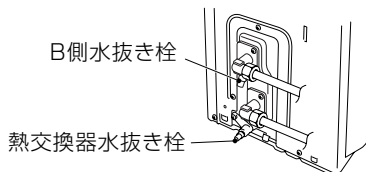
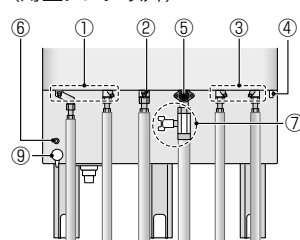
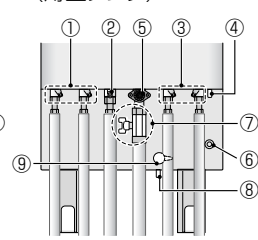
タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で給湯機の使用を再開します。
またタンクの水抜きをせずに1カ月以上お湯を使用しなかった場合は、P62 に従い、いったんタンクの水抜きをしてから次の手順を行なってください。

必ず、手順通りに行なってください。わき上げできない場合やエラーが表示されることがあります。

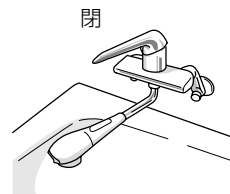
※給湯機を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。

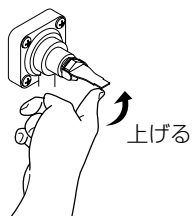
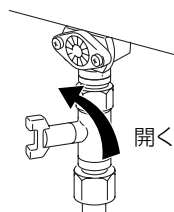
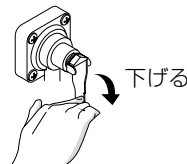
製品形名に「D」の付くタイプは、貯湯タンクユニットを初期状態にしてから（右記手順）、以下の手順を行なってください。	（1）200V電源ブレーカーを「入」にする （2）漏電遮断器の電源レバーを「切」にする （3）漏電遮断器の電源レバーを約30秒間「入」にしたあと、再び「切」にする （4）200V電源ブレーカーを「切」にする

1.以下のことを確認する

（1）貯湯タンクユニットの漏電遮断器が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は、電源レバーを下げ、「切」にする

（2）ヒートポンプユニットの配管カバーを開け（P9）、水抜き栓（2カ所）が閉じていることを確認する（開いている場合はすべて閉じてください。）

（3）貯湯タンクユニットの排水栓、水抜き栓、ストレーナー、非常用取水栓が閉じていることを確認する（開いている場合はすべて閉じてください。）

①	ヒートポンプ配管用水抜き栓
②	給湯配管用水抜き栓
③	ふろ配管用水抜き栓
④	ふろ循環ポンプ用水抜き栓
⑤	ストレーナー
⑥	非常用取水栓
⑦	給水配管専用止水栓
⑧	ヒートポンプ給水配管用水抜き栓
⑨	排水栓

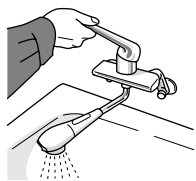
- 脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外してから行なってください。（P10 P11）

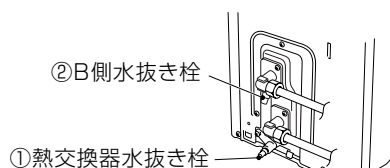
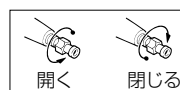
（4）すべての蛇口（湯水混合栓）が閉じていることを確認する

2.機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）を満水にする

（1）貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる

（2）給水配管専用止水栓を開き、貯湯タンクユニットへ給水する

（3）貯湯タンクユニットが満水になったら、逃し弁のレバーを下げる

- タンクが満水になると排水口から水がでます。
（満水までの目安:約30分）

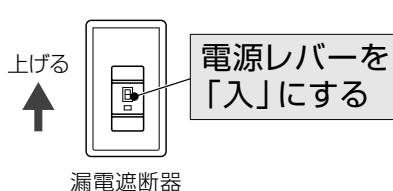
- 機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）を満水にしてから電源を入れてください。
- タンクが満水になるまで蛇口（湯水混合栓）は開けないでください。
流量センサーの故障の原因となります。
- 給水配管専用止水栓は閉じないでください。
- 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。

3.機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）の空気を抜く

（1）蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開き（1カ所）、空気が混ざらなくなったら閉じる

（2）ヒートポンプユニットの水抜き栓（2カ所）を開く

- ①熱交換器水抜き栓→②B側水抜き栓の順に開き、空気が混ざらなくなったら閉じてください。

<順序>
①熱交換器水抜き栓
↓
②B側水抜き栓

4.電源を入れる

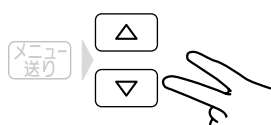
（1）200V電源ブレーカーを「入」にする

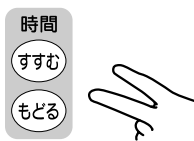
（2）貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを上げ、「入」にする

- 電源を入れると、昼間でもすぐにわき上げを開始します。（台所リモコンの残湯量表示は右図参照）

- 「深夜のみ」モード（スクエアリモコン P27、ラウンドリモコン P50）が設定されていると、昼間にはわき上げを行いません。夜間時間帯になるとわき上げを行います。すぐにわき上げを行うときは、手順7終了後、満タンスイッチを押してください。

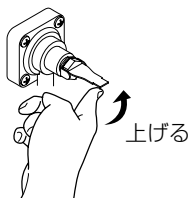
5.ヒートポンプ配管の空気を抜く（強制運転）

- スクエアリモコンの場合

台所リモコンの「△」スイッチと「▽」スイッチを同時に3秒以上押す

- ラウンドリモコンの場合

台所リモコンの「すすむ」スイッチと「もどる」スイッチを同時に3秒以上押す

- 強制運転はヒートポンプ配管内の水を強制的に循環させるものでわき上げは行いません。
- 強制運転中は台所リモコンの表示部に「Air」が表示されます。
- 強制運転は約20分で終了しますので必ず終了するまで行なってください。途中で終了する場合はもう一度台所リモコンの「△」スイッチと「▽」スイッチまたは「すすむ」スイッチと「もどる」スイッチを同時に3秒以上押してください。
- 停止日数が設定されているときは、強制運転を行いません。

6.タンク内の空気を抜く

逃し弁のレバーを上げ、排水口から勢いよく水が出たら下げる

7.時刻を確認する

スクエアリモコン P22
ラウンドリモコン P44

その他の設定（給湯温度、湯はり温度、湯はり湯量など）も工場出荷時状態に戻っていることがありますので確認してください。

8.お湯を使う

約8時間で満タンまでわき上がります。
やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

⚠警告

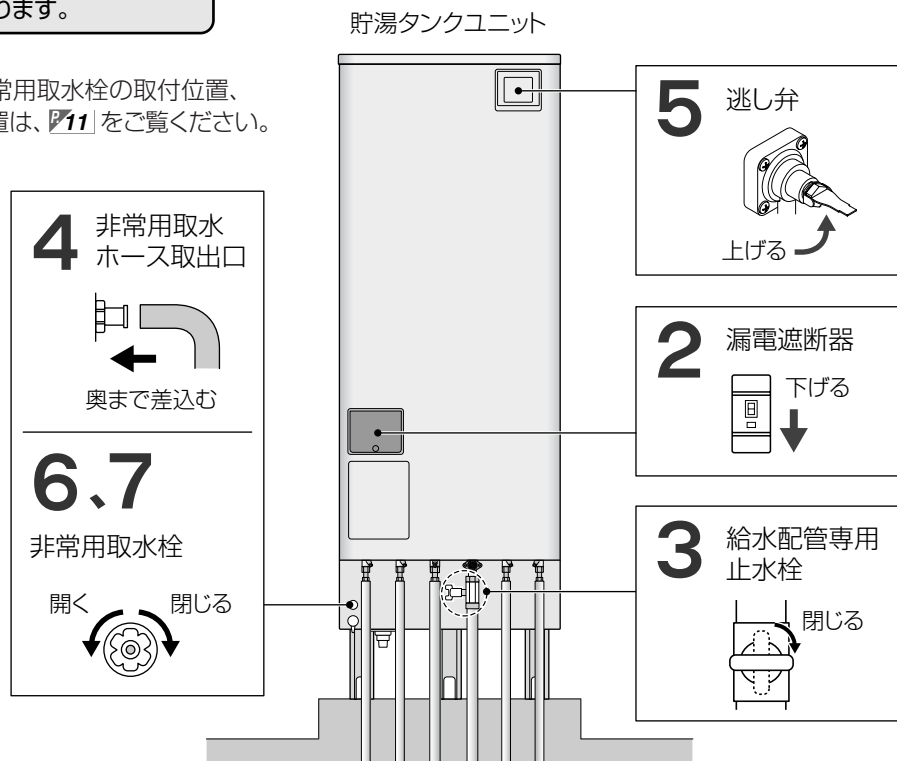
使いはじめは、やけどに注意する

特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

災害時にタンクの水を取り出す

タンクの水（お湯）を生活用水として利用できます。
非常用取水ホースは取扱説明書に同梱されています。

⚠警告
取水時は、やけどに注意する
取水中、急に熱湯（最高90℃）が出る場合があります。

※〈薄型〉の非常用取水栓の取付位置、配管等の位置は、P.11をご覧ください。

1 **貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの前面カバーを外す**（外しかた：P.10 P.11）

2 **貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを下げ、「切」にする**
電気の供給を停止します。

3 **給水配管専用止水栓を閉じる**
貯湯タンクユニットへの給水を止めます。

4 **非常用取水ホースを取出口に取り付ける**

5 **貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる**
タンクへ空気を取り入れます。

6 **非常用取水栓を開く**
タンクの水（お湯）を取り出します。バケツなどで受けます。

〈取水が終わったら〉

7 **非常用取水栓を閉じる**

ポイント
- 再び使用するときは、逃し弁のレバーを下げ、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる（P.64）を行なってください。

定期点検（有料）

給湯機を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。
定期点検については、据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

❑定期点検の主な内容

項　目	内　　容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）、給水用具（逆流防止装置）※などの点検および消耗部品の交換
清　　掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など）、貯湯タンクユニットのストレーナーの掃除

※給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて点検をおすすめします。

❑消耗部品

下記部品の交換時は、当社別売部品をご指定ください。

- 減圧弁
- 逃し弁
- パッキン類
- 混合弁
- ポンプ
- バイパス弁
- センサー類
- 電磁弁

仕様

一般地向け

区分	項目						
形名	システム	SRT-HP37W2	SRT-HP37WD2	SRT-HP46W2	SRT-HP46WD2	SRT-HP46WDM2	SRT-HP55W2
	ヒートポンプユニット	SRT-HPU45A2	SRT-HPU45A2	SRT-HPU60A2	SRT-HPU60A2	SRT-HPU60A2	SRT-HPU72A2
	貯湯タンクユニット	SRT-HPT37W2	SRT-HPT37WD2	SRT-HPT46W2	SRT-HPT46WD2	SRT-HPT46WDM2	SRT-HPT55W2
適用電力制度		季節別時間帯別電灯／時間帯別電灯（通電制御型）					
種類（設置場所）	ヒートポンプユニット	屋外専用					
	貯湯タンクユニット	屋外専用	屋内/屋外兼用	屋外専用	屋内/屋外兼用		屋外専用
タンク容量		0.37m³（370L）		0.46m³（460L）			0.55m³（550L）
定格電圧（周波数）		単相200V（50／60Hz）					
ヒートポンプユニット	定格加熱能力/消費電力※2 ※3	4.5kW／0.915kW		6.0kW／1.22kW			7.2kW／1.60kW
	夏期加熱能力/消費電力※2 ※4	4.5kW／0.89kW		4.5kW／0.89kW			4.5kW／0.89kW
	冬期高温加熱能力/消費電力※1 ※2 ※5	4.5kW／1.50kW		6.0kW／1.78kW			7.2kW／2.5kW
	定格電流※3	5.0A		6.7A			8.8A
	運転音※6	38dB		42dB			44dB
	冷媒名（封入量）	CO_2（1.04kg）					CO_2（1.075kg）
消費電力	循環ポンプ（ふろ保温用）	0.130kW（50Hz）／0.161kW（60Hz）					
	凍結防止ヒーター	0.060kW					
	制御用	0.020kW					
最大電流		16A		17A			19A
わき上げ温度		約65℃～約90℃					
寸法	ヒートポンプユニット（高さ×幅×奥行き）	732mm ×800（＋80※）mm ×285（＋23）mm ※配管カバー寸法					
	貯湯タンクユニット（高さ×幅×奥行き）	1830 × 630 × 760mm		2170 × 630 × 760mm		1800×700×825mm	2100×700×825mm
質量	ヒートポンプユニット	約56kg					
	貯湯タンクユニット	約70kg（満水時 約440kg）	約72kg（満水時 約442kg）	約80kg（満水時 約540kg）	約82kg（満水時 約542kg）	約81kg（満水時 約541kg）	約90kg（満水時 約640kg）
水側最高使用圧力		193kPa（逃し弁設定値）					
安全装置		漏電遮断器、缶体保護弁					

寒冷地（北海道、青森、秋田岩手を中心とした次世代省エネ基準のI地域・II地域）および最低気温がマイナス10℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので、使用できません。

一般地向け〈薄型〉

区分	項目		
形名	システム	SRT-HP37WZ2	SRT-HP43WZ2
	ヒートポンプユニット	SRT-HPU45A2	SRT-HPU60A2
	貯湯タンクユニット	SRT-HPT37WZ2	SRT-HPT43WZ2
適用電力制度		季節別時間帯別電灯／時間帯別電灯（通電制御型）	
種類（設置場所）	ヒートポンプユニット	屋外専用	
	貯湯タンクユニット	屋外専用	
タンク容量		0.37m³（370L）	0.43m³（430L）
定格電圧（周波数）		単相200V（50／60Hz）	
ヒートポンプユニット	定格加熱能力/消費電力※2 ※3	4.5kW／0.915kW	6.0kW／1.22kW
	夏期加熱能力/消費電力※2 ※4	4.5kW／0.89kW	4.5kW／0.89kW
	冬期高温加熱能力/消費電力※1 ※2 ※5	4.5kW／1.50kW	6.0kW／1.78kW
	定格電流※3	5.0A	6.7A
	運転音※6	38dB	42dB
	冷媒名（封入量）	CO_2（1.04kg）	
消費電力	循環ポンプ（ふろ保温用）	0.130kW（50Hz）／0.161kW（60Hz）	
	凍結防止ヒーター	0.096kW	
	制御用	0.020kW	
最大電流		16A	17A
わき上げ温度		約65℃～約90℃	
寸法	ヒートポンプユニット（高さ×幅×奥行き）	732mm ×800（＋80※）mm ×285（＋23）mm ※配管カバー寸法	
	貯湯タンクユニット（高さ×幅×奥行き）	1900 × 1120 × 430mm	2170 × 1120 × 430mm
質量	ヒートポンプユニット	約56kg	
	貯湯タンクユニット	約90kg（満水時 約460kg）	約99kg（満水時 約529kg）
水側最高使用圧力		193kPa（逃し弁設定値）	
安全装置		漏電遮断器、缶体保護弁	

寒冷地（北海道、青森、秋田岩手を中心とした次世代省エネ基準のI地域・II地域）および最低気温がマイナス10℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので、使用できません。

※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
※2 わき上げ終了直前では、加熱能力が低下することがあります。
※3 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、わき上げ温度65℃
※4 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）25℃/21℃、水温24℃、わき上げ温度65℃
※5 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、わき上げ温度90℃
※6 定格条件下での測定（JISのルームエアコンディショナに準じ測定）

※社団法人日本冷凍空調工業会 標準規格JRA4050に基づいた表示です。
〈定格条件〉外気温（乾球温度/湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、わき上げ温度65℃

集合住宅向け

項目		仕様
形名	システム	SRT-HP30WD2
形名	ヒートポンプユニット	SRT-HPU45A2
形名	貯湯タンクユニット	SRT-HPT30WD2
適用電力制度		季節別時間帯別電灯／時間帯別電灯（通電制御型）
種類（設置場所）	ヒートポンプユニット	屋外専用
種類（設置場所）	貯湯タンクユニット	屋内/屋外兼用
タンク容量		0.30m^3（300L）
定格電圧（周波数）		単相 200V（50／60Hz）
ヒートポンプユニット	定格加熱能力/消費電力※2※3	4.5kW／0.915kW
ヒートポンプユニット	夏期加熱能力/消費電力※2※4	4.5kW／0.89kW
ヒートポンプユニット	冬期高温加熱能力/消費電力※1※2※5	4.5kW／1.50kW
ヒートポンプユニット	定格電流※3	5.0A
ヒートポンプユニット	運転音※6	38dB
ヒートポンプユニット	冷媒名（封入量）	CO_2（1.04kg）
消費電力	循環ポンプ（ふろ保温用）	0.130kW（50Hz）／0.161kW（60Hz）
消費電力	凍結防止ヒーター	0.060kW
消費電力	制御用	0.020kW
最大電流		16A
わき上げ温度		約65℃～約90℃
寸法	ヒートポンプユニット（高さ×幅×奥行き）	732mm ×800（＋80※）mm ×285（＋23）mm ※配管カバー寸法
寸法	貯湯タンクユニット（高さ×幅×奥行き）	1800 × 600 × 650mm
質量	ヒートポンプユニット	約56kg
質量	貯湯タンクユニット	約67kg（満水時 約367kg）
水側最高使用圧力		193kPa（逃し弁設定値）
安全装置		漏電遮断器、缶体保護弁

寒冷地（北海道、青森、秋田岩手を中心とした次世代省エネ基準のⅠ地域・Ⅱ地域）および最低気温がマイナス10℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので、使用できません。

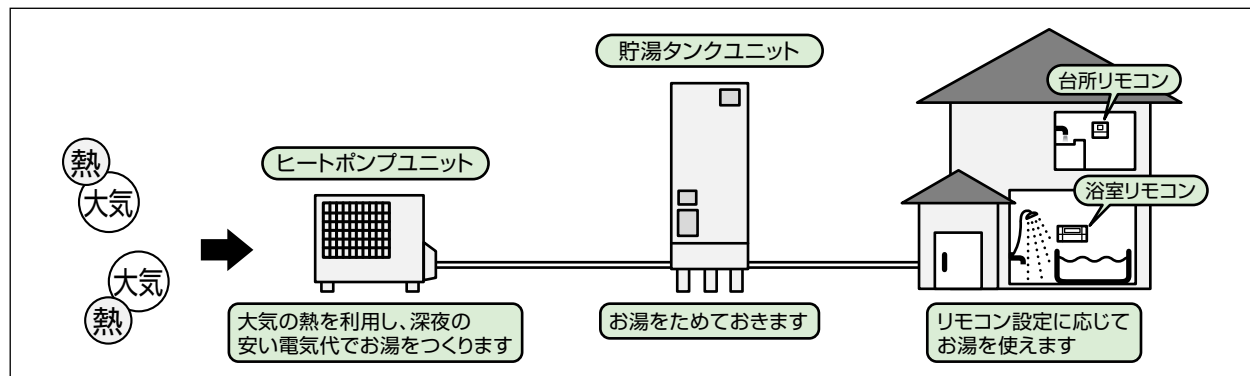
寒冷地向け

項目					
形名	システム	SRT-HPK37W2	SRT-HPK37WD2	SRT-HPK46W2	SRT-HPK46WD2
形名	ヒートポンプユニット	SRT-HPUK45A2	SRT-HPUK45A2	SRT-HPUK60A2	SRT-HPUK60A2
形名	貯湯タンクユニット	SRT-HPTK37W2	SRT-HPTK37WD2	SRT-HPTK46W2	SRT-HPTK46WD2
適用電力制度		季節別時間帯別電灯／時間帯別電灯（通電制御型）			
種類（設置場所）	ヒートポンプユニット	屋外専用			
種類（設置場所）	貯湯タンクユニット	屋外専用	屋内/屋外兼用	屋外専用	屋内/屋外兼用
タンク容量		0.37m^3（370L）		0.46m^3（460L）	
定格電圧（周波数）		単相 200V（50／60Hz）			
ヒートポンプユニット	定格加熱能力/消費電力※2※3	4.5kW／0.915kW		6.0kW／1.22kW	
ヒートポンプユニット	夏期加熱能力/消費電力※2※4	4.5kW／0.89kW		4.5kW／0.89kW	
ヒートポンプユニット	冬期高温加熱能力/消費電力※1※2※5	4.5kW／1.50kW		6.0kW／1.78kW	
ヒートポンプユニット	定格電流※3	5.0A		6.7A	
ヒートポンプユニット	運転音※6	38dB		42dB	
ヒートポンプユニット	冷媒名（封入量）	CO_2（1.00kg）			
消費電力	循環ポンプ（ふろ保温用）	0.130kW（50Hz）／0.161kW（60Hz）			
消費電力	凍結防止ヒーター	0.096kW			
消費電力	制御用	0.020kW			
最大電流		18A			
わき上げ温度		約65℃～約90℃			
寸法	ヒートポンプユニット（高さ×幅×奥行き）	732mm ×800（＋80※）mm ×285（＋23）mm ※配管カバー寸法			
寸法	貯湯タンクユニット（高さ×幅×奥行き）	1830 × 630 × 760mm		2170 × 630 × 760mm	
質量	ヒートポンプユニット	約57kg			
質量	貯湯タンクユニット	約71kg（満水時 約441kg）	約73kg（満水時 約443kg）	約81kg（満水時 約541kg）	約83kg（満水時 約543kg）
水側最高使用圧力		193kPa（逃し弁設定値）			
安全装置		漏電遮断器、缶体保護弁			

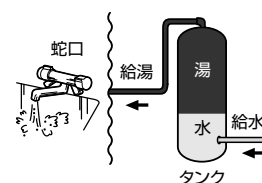
外気温がマイナス20℃を下回る極寒地では、凍結により機器が故障するおそれがありますので、使用できません。札幌以南が使用地域の目安です。

製品形名に「D」の付くタイプには、万一、貯湯タンクユニット内で水漏れが起こった時、貯湯タンクユニットへの給水を自動的に止めて水漏れによる被害拡大を抑制する機能があります。（タンク内に貯まっているお湯（水）までストップするものではありません。）
また、形名に「BS」「BSG」の付くタイプは、塩害地へ設置できる構造となっています。

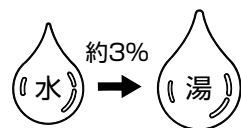
機器の役割など

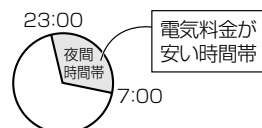
■機器の役割

■給湯機の基本原理

①自動給水・押上げ方式です

蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通って自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯（水）で満たされています。

②水は体積膨張します

水がお湯になると必ず体積膨張を起こし、約3%増加します。

例えば、370Lの温水器では、約11L分増えます。この増えた分を逃す目的で逃し弁が取付けられます。わき上げ中に逃し弁からお湯が少しずつ排水されるのは、故障ではありません。正常な動作なのです。

③主に夜間に運転を行い、わき上げます

割安な深夜電力を利用して、タンク内のお湯をわき上げます。（運転モードが「通常モード」の場合、お湯が少なくなると昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。）

④わき上げ中は運転音がします

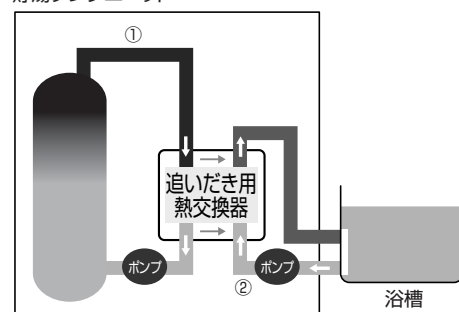
運転中は運転音がします。また、ドレン口から少量の水が出ることがあります。

⑤タンク貯湯式です

わき上げたお湯をタンクに貯湯し、水を混合させて設定温度での給湯を行います。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

■追いだきの仕組み

タンクからの熱いお湯（図中①）と浴槽からのぬるいお湯（図中②）を熱交換器で**熱交換**することで、浴槽からのぬるいお湯をあたためます。（**追いだき**）

※ふろ配管は、独立した回路となっていますので、おふろのお湯がタンク内に入ることはありません。

注.説明に必要な部品、配管のみ記載しています。

わき上げ方法

使用湯量に合わせて、適切なモードを選択してください。
使い始めは湯切れ防止のために「おまかせ」「通常モード」に設定することをおすすめします。特に使用量が多いと思われる場合は、「多め」に設定することをおすすめします。

①「わき上げモード」は「多め」「おまかせ」「少なめ」から選べます

表示	わき上げ温度(目安)	わき上げ量	長所・短所
多め	約80℃～90℃	満タンまで	最高の温度でわき上げるのでお湯をたくさん使えます。
おまかせ	約65℃～90℃	100L～満タンまで	季節や過去の使用湯量に応じて効率よくわき上げるので省エネ効果・湯切れ防止効果があります。おすすめの温度設定です。
少なめ	約65℃～80℃	100L～満タンまで	季節や過去の使用湯量から、最小限のわき上げを行います。(湯切れの心配もあります。)

②わき増し方法を決める「運転モード」は「通常モード」「深夜のみモード」から選べます

運転モード	表示	長所・短所
通常	上部	過去使用熱量から、夜間時間帯のわき上げでお湯がたりないと予想される場合には、湯切れ防止のため、昼間に自動でわき増しを行います。 使い初めはこのモードでご使用ください。 ※スクエアリモコンのみ「上部」が表示されます。ラウンドリモコンには表示されません。
深夜のみ 昼間わき増しあり	上部 深夜のみ	夜間時間帯にわき上げた湯量以上のお湯を使ってしまっても、昼間に約50Lのわき増し(目安:シャワー1人分)を自動的に行ないます。 「通常モード」では、常に残湯表示が2つ以上点灯しているなど、お湯が余る場合にご使用ください。 ※スクエアリモコンのみ設定できます。
深夜のみ	深夜のみ	夜間時間帯のみにわき上げを行ないます。夜間時間帯にわき上げた湯量以上のお湯を使うと、リモコンに「残湯なし」が表示され、お湯が使えなくなります。 「通常モード」では、常に残湯表示が2つ以上点灯しているなど、お湯が余る場合にご使用ください。

残湯量の見かた

タンク内の残湯量(45℃以上の お湯の量)をリモコンに表示します。
お湯が少なくなったときは、各リモコンに「 残湯なし 」が表示されますので、満タンわき増しを使用してください。

残湯量表示						残湯なし 点滅	残湯なし 点灯	残湯なし 点灯	
お湯の量	550L機種	500L以上 (ほぼ満タン)	330L以上 500L未満	150L以上 330L未満	50L以上 150L未満	50L未満	残湯なし (湯切れ)	50L未満	50L以上 150L未満
	460L機種	410L以上 (ほぼ満タン)	270L以上 410L未満	150L以上 270L未満					
	430L機種(薄型)	390L以上 (ほぼ満タン)	250L以上 390L未満	150L以上 250L未満					
	370L機種(薄型)	330L以上 (ほぼ満タン)	250L以上 330L未満	150L以上 250L未満					
	370L機種	320L以上 (ほぼ満タン)	240L以上 320L未満	150L以上 240L未満					
	300L機種	250L以上 (ほぼ満タン)	200L以上 250L未満	150L以上 200L未満					
お湯の増減									
ふろ機能の制約	ふろ自動	使用できます(※)					使用できません		使用できます (※)
	追いだき								
	高温さし湯								
	たっぷり								
	ぬるく	使用できます							

※ふろ機能の操作は行えますが、タンク内の湯温によっては動作が途中で停止するなど、十分な性能が発揮できない場合があります。

ポイント
- 残湯量表示の「 ■ 」は45℃以上のお湯を表しています。
- 自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。

故障かな?と思ったら

	症状	処置・確認事項
お湯	お湯が出ない 出が悪い	●給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。 ●断水時は、断水が終わるまで待ってください。 ●配管凍結している場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	お湯が足りない	●お湯をたくさん使用した場合は、満タンわき増しをご利用ください。(スクエアリモコン P25、ラウンドリモコン P48) ●わき上げモードの設定が「少なめ」の場合は、「おまかせ」または「多め」へ設定を変えてください。(スクエアリモコン P26、ラウンドリモコン P49) ●運転モードの設定が「深夜のみ」の場合は、「通常モード」へ設定を変えてください。(スクエアリモコン P27、ラウンドリモコン P50) ●台所リモコンに「わき上げ中」が表示されていないときに、逃し弁の排水口から水(お湯)が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。(P58)
	お湯がわかない	●200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は、「入」にしてください。 ●停止日数設定中は、停止日数を解除し、満タンわき増しを利用してください。(スクエアリモコン P25、ラウンドリモコン P48)
	お湯が白く 濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となってでてくる現象です。少し時間をおくと消えます。
	お湯から油がでる、 お湯が臭い	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。臭いが気になる場合は本書の手順(P62 P64)によりタンク内の湯を入れかえてください。
	タンク内の温度が 設定した温度より 低い	●わき上げ温度はヒートポンプユニットでわき上げるお湯の温度です。途中の配管の放熱などにより、タンクにたまるお湯の温度は、わき上げ温度よりも低くなります。 ●タンク内の温度は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下します。
	蛇口のお湯が設定 温度より低い	●配管の放熱によって、温度が低くなることがあります。
	浴槽の残り湯が 臭う	●前日の残り湯を追いだき等をしてご使用になる場合、浴槽の湯が臭うことがあります。臭いが気になる場合はお湯を入れかえてご使用ください。 ●配管洗浄をお試しください。(スクエアリモコン P32、ラウンドリモコン P56)
	浴槽や洗面器等 に青い線がつく	●湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したもので、身体に害はありません。台所用の油汚れ専用の洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。

<table>
<tr><th colspan="2">症状</th><th>処置・確認事項</th></tr>
<tr><td>お湯</td><td>浴槽の水が青く見える</td><td>● 光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。浴槽等はよく洗ってください。青い線がつきにくくなります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">浴槽アダプター</td><td>浴槽アダプターから汚れが出る</td><td>● 配管内にたまった汚れが出てきています。循環洗浄を行なってください。また、浴水を排水するときは必ず洗浄スイッチを押してください。（スクエアリモコン P.32、ラウンドリモコン P.56）浴槽内にタオルなどを持ち込むと、タオルの繊維等が汚れとして浴槽内や、配管内に残ることがあります。</td></tr>
<tr><td>浴槽アダプターの内側が赤っぽく汚れている</td><td>● 浴槽アダプターの内側に付く赤っぽい汚れは水あかですのでこまめなお手入れをお願いします。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">給湯機</td><td>貯湯タンクユニットの排水口からお湯（水）が出ている</td><td>● わき上げ中（リモコンに「わき上げ中」が表示されている場合）は体積が増えた分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。
● リモコンに「わき上げ中」の表示がないときにお湯（水）が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。（P.58）</td></tr>
<tr><td>ヒートポンプユニットが運転／停止を繰り返す</td><td>● 気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転／停止を繰り返します。</td></tr>
<tr><td>ヒートポンプユニットから水が出ている</td><td>● 運転中はドレン口から少量の水が出ることがあります。</td></tr>
<tr><td>昼間にヒートポンプユニットが動く</td><td>● 夜間時間帯のわき上げだけでは湯量が足りない場合、昼間時間帯に不足分のわき上げを行います。（過去１週間の使用湯量を学習して、その日の必要湯量を予測します。）
● 冬期はヒートポンプ配管の凍結防止のため、ヒートポンプユニットが動くことがあります。</td></tr>
<tr><td>運転モードを「深夜のみ」に設定していても昼間にヒートポンプユニットが動く</td><td rowspan="2">● 外気温度が低下すると、凍結防止のための運転を行うことがあります。
● 「深夜のみモード」で「上部」が設定されている場合（P.27）は、お湯が少なくなると昼間でもわき増しを行います。（スクエアリモコンのみ）
● 「電力契約モード」がお客さまの電力契約と合っていない場合は、設定し直してください。（スクエアリモコン P.30、ラウンドリモコン P.54）</td></tr>
<tr><td>運転停止を設定していてもヒートポンプユニットが動く</td></tr>
</table>

	症状	処置・確認事項
給湯機	夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行わない	● 給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。（ピークシフト機能）
給湯機	わき上げ運転中ヒートポンプユニットの背面が霜で白くなる	● 冬期運転中は蒸発器のフィンに霜がつくことがあります。 ● フィンに付着した霜がファンにあたり、音が出ることがあります。
リモコン表示部	点灯しない（電源が入らない）	● 漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店（販売店）へご連絡ください。
リモコン表示部	リモコンの時刻表示が「00:00」で点滅する	● 時刻を合わせ直してください。 （スクエアリモコン P22、ラウンドリモコン P44）
操作	設定したわき上げ温度までわき上がらない	● 以下のことを行うとタンク内の湯温がわき上げ温度まで上がらない場合があります。配管からの放熱や外気温度が低い場合も同様です。 ①台所リモコンに「わき上げ中」が表示されているときにお湯を使用した場合 ②わき上げモードの設定をかえた場合 （「少なめ」→「多め」または「おまかせ」→「多め」） ③給水水温が低く、残湯量が少ない場合 ● 給水水温…10℃以下 ● 残湯量…20L未満 ④外気温度が低い場合 機器の保護のため、外気温度がマイナス10℃（寒冷地向けはマイナス20℃）以下になると、わき上げ温度を自動的に約65℃に調整します。（リモコンでのわき上げ温度設定に関係なく低く調整します。）
操作	満タンスイッチを押してもわき上げを開始しない	● タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。「満タンわき増し」を設定するとタンク内のお湯が約50L以上減ったとき自動的にわき上げを開始します。
操作	お湯を使っていないのに残湯量表示が消える	● 自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。 ● 追いだきを行うと、タンク内のお湯の温度が下がり、残湯量表示が消えることがあります。

症状		処置・確認事項
操作	湯はりができない	●リモコンに「U03」が表示されている場合 浴槽の排水栓を閉じてから、湯はりをしてください。または、湯はりの設定量を増やして湯はりをしてください。 ●リモコンに「残湯なし」が表示されている場合 満タンわき増しを行なってタンク内をわき上げてから、湯はりをしてください。(スクエアリモコン P.25、ラウンドリモコン P.48) ●浴槽の残り湯が、浴槽アダプター付近のとき湯はりを行なうと、湯はりが途中で停止する場合があります。残り湯を排水してから湯はりを行なってください。
操作	「湯はり温度」が設定した温度より低い	●湯はりの「温度」は目安温度です。浴槽内の温度は配管や浴槽に熱をうばわれるため、それよりも少し下がることがあります。次回から湯はりの温度を上げてください。(湯はり後、自動保温動作で設定した温度まで上がります。)
操作	「湯はり量」が設定した量より多い(あふれる)	●浴槽に残り湯がある状態で湯はりを行うと、湯はり完了時に、残り湯分だけお湯が増えます。残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。(スクエアリモコン P.15、ラウンドリモコン P.37) ●浴槽の容量以上に設定されていないか確認してください。(浴槽の容量に対して7〜8割が適正量です。) ●設定湯量を湯はりしますので、湯はり中に蛇口やシャワーからお湯をたすと、あふれることがあります。 ●循環洗浄を行い、配管のつまりなどの除去を行なってください。
操作	湯はりが途中で止まる(断続的に湯はりする)	●これは循環ポンプを運転し、ふろ配管の空気を抜く動作です。(ふろ自動ランプが点滅していれば正常に湯はりを行なっています。) ●特に設置後一週間程度は浴槽形状を学習するため、一回の湯はりで複数回停止します。
操作	ふろ自動運転を「切」にしているのにポンプが動作する	●以下の場合は、ポンプが動作することがあります。 ①ふろ自動運転を「切」にした直後 保温動作中(ポンプ動作中)にふろ自動運転はすぐには止まりません。 ②浴槽の凍結予防運転(P.60)時 (スクエアリモコンのみ「凍結予防」と表示されます。) ③追いだき中
操作	ふろ自動を「切」にしても浴槽アダプターから冷たい水が出る、または音がする	●ふろ配管の凍結予防運転(P.60)を行なっています。(スクエアリモコンのみ「凍結予防」と表示されます。)
操作	給湯温度を変更できない	●浴室リモコンの優先スイッチを押してから、給湯温度を変更してください。(スクエアリモコン P.17、ラウンドリモコン P.39)

ご使用の前に
スクエアリモコンの使いかた
ラウンドリモコンの使いかた
こんなとき
故障かな

	症状	処置･確認事項
操作	追いだき、高温さし湯ができない	●浴槽アダプターのお手入れ、配管洗浄を行なってください。（スクエアリモコン P32、ラウンドリモコン P56） ●湯はり中は使用できません。 ●浴槽のお湯が浴槽アダプターより少ない場合は、使用できません。 ●リモコンに「残湯なし」が表示されている場合は使用できません。満タンわき増しを行なってタンク内をわき上げてから、追いだき、高温さし湯を使用してください。 ●スイッチを3秒以上押し続けてください。 〈追いだき〉「あつく」スイッチを3秒以上押す 〈高温さし湯〉「あつく」と「たっぷり」スイッチを同時に3秒以上押す
	追いだき、高温さし湯を中止（スイッチ「切」）しても機器が動作する	●追いだきを途中で停止した場合、すぐには止まりません。配管内に残った熱いお湯を押し出すため、しばらくポンプが動作します。 ●高温さし湯を途中で停止した場合、すぐには止まりません。配管内に残った熱いお湯を押し出すため、約8Lのお湯が出ます。
	音声ガイダンスが聞こえない	●「音声を切ります」以外の設定にしてください。
	通話できない	●「通話」スイッチを押してから60秒以上たっている場合は、もう一度「通話」スイッチを押してください。 ●音量設定が「小」になっていて聞こえにくい場合は、「中（スクエアリモコンのみ）」または「大」にしてください。 ●リモコンに向かって話していない、またはリモコンに近づきすぎている場合は、適切な位置で通話してください。 ●通話中にスピーカーから「ピー」という音が出る場合は、通話音量を下げてください。
	突然、リモコンのブザーが鳴る	●給湯温度を60℃に変更したときは、リモコンの音声ガイダンスやブザーが鳴ります。
	浴室リモコンの表示が消えている、時々点灯する	●「自動消灯モード」が設定されていると、給湯機を使用しないまま約10分間たつと表示が消灯します。お湯を使ったり、いずれかのスイッチを押すと再び表示しますが、さらに約10分間使用しないままでいると表示が消灯します。（ラウンドリモコンのみ）
浴槽	自動たし湯が働かない	●水位が下がってもすぐには設定水位にならない場合があります。 ●ふろ自動モードで自動たし湯停止にしている場合は動作しません。（スクエアリモコン P31、ラウンドリモコン P55） ●浴槽水位が一旦浴槽アダプター付近まで低下すると、その後自動たし湯を行なわなくなることがあります。 ●浴槽アダプターのお手入れ、配管洗浄を行なってください。（スクエアリモコン P32、ラウンドリモコン P56）

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口（ P79 ）」へご相談ください。

リモコンにエラーが表示された場合

リモコンにエラーが表示された場合は、下記にしたがって処置をしてください。
処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口(P79)」へご相談ください。

表示	原因・処置
U00	● 給湯機の給水口にお湯が供給されています。給湯機の給水口に水を供給してください。ソーラー温水器や給湯機が接続されている時は据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。 ● 給水配管専用止水栓が閉じているときに湯側の蛇口を開きました。給水配管専用止水栓を開いてから、湯側の蛇口を開いてください。（P10 P11） ● 断水時や配管が凍結しているときに湯側の蛇口を開きました。断水時は断水が終わるまで待ち、湯側の蛇口を開いてください。凍結しているときは、給水配管専用止水栓を閉じて、据付工事店（販売店）へご連絡ください。
U03	● 浴槽の排水栓が閉じていない状態で湯はりをしています。浴槽の排水栓を閉じてから湯はりをしてください。 ● 湯はり湯量が少ない場合は、浴槽アダプターがかくれるまで湯量を増やしてください。 ● 浴槽アダプターのお手入れを行なってください。（P58） ● 浴槽アダプターより上まで湯はりされている場合は、ふろ配管があか等でつまり始めている場合がありますので、循環洗浄を行なってください。（スクエアリモコンP32、ラウンドリモコンP56）
U09	● 停電などで初期設定に戻ったとき、浴槽にお湯（残水）が入っている状態で湯はりをしています。いったん、浴槽のお湯（残水）を排水してから湯はりをしてください。
P05	● タンク内に水が無い場合は、タンクを満水にしてください。 ● 給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。（P10 P11） ● 断水時は、断水が終わるまで待ってください。 ● 配管凍結している場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。
H03	● 給湯機とリモコンが正しい組み合わせではありません。据付工事店（販売店）へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。
H 10	● 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。（わき上げも行いません。） 正しい組み合わせでも「H10」が表示される場合は、据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。
H 11	● 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。（わき上げは行います。）
その他の表示（E05）など	● 給湯機の点検が必要です。200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。（P10 P11 P79）

アフターサービス

保証書（添付）

- 保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。）
- 据付工事説明書（別添付）で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間	お買上げ日から2年間です。ただし、ヒートポンプユニット内の熱交換器・コンプレッサーは3年間、タンクは5年間です。

※保証期間を延長できる「延長保証制度」があります。（詳細は下記参照）

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（右一覧表）へご相談ください。

修理を依頼されるときは

- 「故障かな？と思ったら」（P.72）にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店（販売店）にご連絡ください。
- 保証期間中は

  修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店（販売店）が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは

  修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金は

  技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。
- ご連絡いただきたい内容

ご連絡いただきたい内容
●品名：三菱 自然冷媒 ヒートポンプ式電気給湯機
●形名：（例）SRT-HPT37W2（エスアールテー エイチピーテー ダブリュウ）
●お買上げ日：年月日
●故障の状況：できるだけ具体的に
●お名前・ご住所（付近の目印なども）・電話番号・訪問希望日

※形名は貯湯タンクユニットの前面カバーに表示されています。（P.10 P.11）

延長保証制度

延長保証期間が8年間と5年間の2タイプご用意しています。

〈保証期間〉

申込有効期間 3カ月以内

延長保証期間8年間の場合

商品購入日から8年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で8年間となります。

〈例〉ご購入日／1年後／2年後／3年後／4年後／5年後／6年後／7年後／8年後～
メーカー保証2年 → 延長保証 → 通常の有料修理

延長保証期間5年間の場合

商品購入日から5年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で5年間となります。

ご購入日／1年後／2年後／3年後／4年後／5年後～
メーカー保証2年 → 延長保証 → 通常の有料修理

●製品ご購入時あるいはご購入日から3カ月以内にお申し込みください。●延長保証はメーカー保証終了後からのスタートとなります。延長保証は、メーカー保証を含め、ご購入日〈使用開始日〉から8年間または5年間の長期保証となります。また延長保証は終了後は通常の有料修理に移行いたします。●保証金額は本体のご購入価格が限度となります。●当制度の詳細は三菱電機延長保証申込受付センターまでお問い合わせください。

〈保証内容〉延長保証期間中に対象商品に故障が発生した場合に、修理費を保証します。 保証する修理費用 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料

〈延長保証対象商品と保証料〉

ヒートポンプ式電気給湯機
三菱エコキュート
8年間保証料24,400円（税抜価格23,238円）
5年間保証料11,340円（税抜価格10,800円）

2007年7月現在（保証料は変更する場合がありますのでご注意ください）

資料のご請求はこちらへ **三菱電機延長保証申込受付センター**

0120-867-789

受付時間：平日午前9:00～午後5:30
（年末年始を除く）

ご使用の前に
スクエアリモコンの使いかた
ラウンドリモコンの使いかた
こんなとき
故障かな

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内（家電品）

修理・取扱いのご相談は まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などで お買上げの販売店へ
ご依頼できない場合は

修理窓口 へ

ご相談窓口 へ

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口　電話受付：365日 24時間

北海道・東北地区

北海道全域・宮城県

東日本フロントセンター
東京都世田谷区池尻 3-10-3
フリーダイヤル 0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応） (03) 3424-1111
ファックス (03) 3424-1115
インターネット www.melsc.co.jp

地区	電話番号	住所
青森	(017)773-8381	青森市大字野木字野尻 37-184
八戸	(0178)28-8544	八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8
盛岡	(019)637-7454	盛岡市羽場13地割30-11
水沢	(0197)25-4511	奥州市水沢区卸町2-3
秋田	(018)865-4471	秋田市八橋三和町19-36
横手	(0182)32-1785	横手市卸町 3-2
大館	(0186)42-2781	大館市餅田 2-5-44
山形	(023)624-0018	山形市大野目 2-1-21
鶴岡	(0235)24-6161	鶴岡市上畑町 5-4
郡山	(024)959-6543	郡山市喜久田町卸1-76-1
会津	(0242)27-4426	会津若松市天神町25-39
原町	(0244)24-2842	南相馬市原町区桜井町 1-173
いわき	(0246)26-1822	いわき市小島町 1-2-2

関東・甲信越地区

東京都・神奈川県・千葉県・茨城県
埼玉県・栃木県・群馬県・山梨県
長野県（飯田地区除く）・新潟県
静岡県

東日本フロントセンター
東京都世田谷区池尻 3-10-3
フリーダイヤル 0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応） (03) 3424-1111
ファックス (03) 3424-1115
インターネット www.melsc.co.jp

関西・東海・北陸・中国・四国地区

大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
京都府・滋賀県・愛知県・三重県
岐阜県・長野県（飯田地区）
石川県・富山県・福井県・広島県
山口県・島根県・鳥取県・岡山県
香川県・徳島県・高知県・愛媛県

西日本フロントセンター
大阪市北区大淀中 1-4-13
フリーダイヤル 0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応） (06) 6454-3901
ファックス (06) 6454-3900
インターネット www.melsc.co.jp

九州地区

福岡県・佐賀県

東日本フロントセンター
東京都世田谷区池尻 3-10-3
フリーダイヤル 0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応） (03) 3424-1111
ファックス (03) 3424-1115
インターネット www.melsc.co.jp

地区	電話番号	住所
長崎	(095)834-1116	長崎市丸尾町 4-4
佐世保	(0956)30-7740	佐世保市木原町 155-1
熊本	(096)380-0211	熊本市石原 1-10-35
八代	(0965)33-5173	八代市緑町 13-1
大分	(097)558-8803	大分市向原西 1-8-1
宮崎	(0985)56-4900	宮崎市大字赤江字飛江田 150-1
延岡	(0982)21-3540	延岡市惣領町 25-5
鹿児島	(099)260-2421	鹿児島市卸本町 7-17
沖縄	(098)898-3333	宜野湾市大山 7-12-1

ご相談窓口

当社家電品の購入・取扱い方法・その他ご不明な点は

三菱電機お客さま相談センター
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

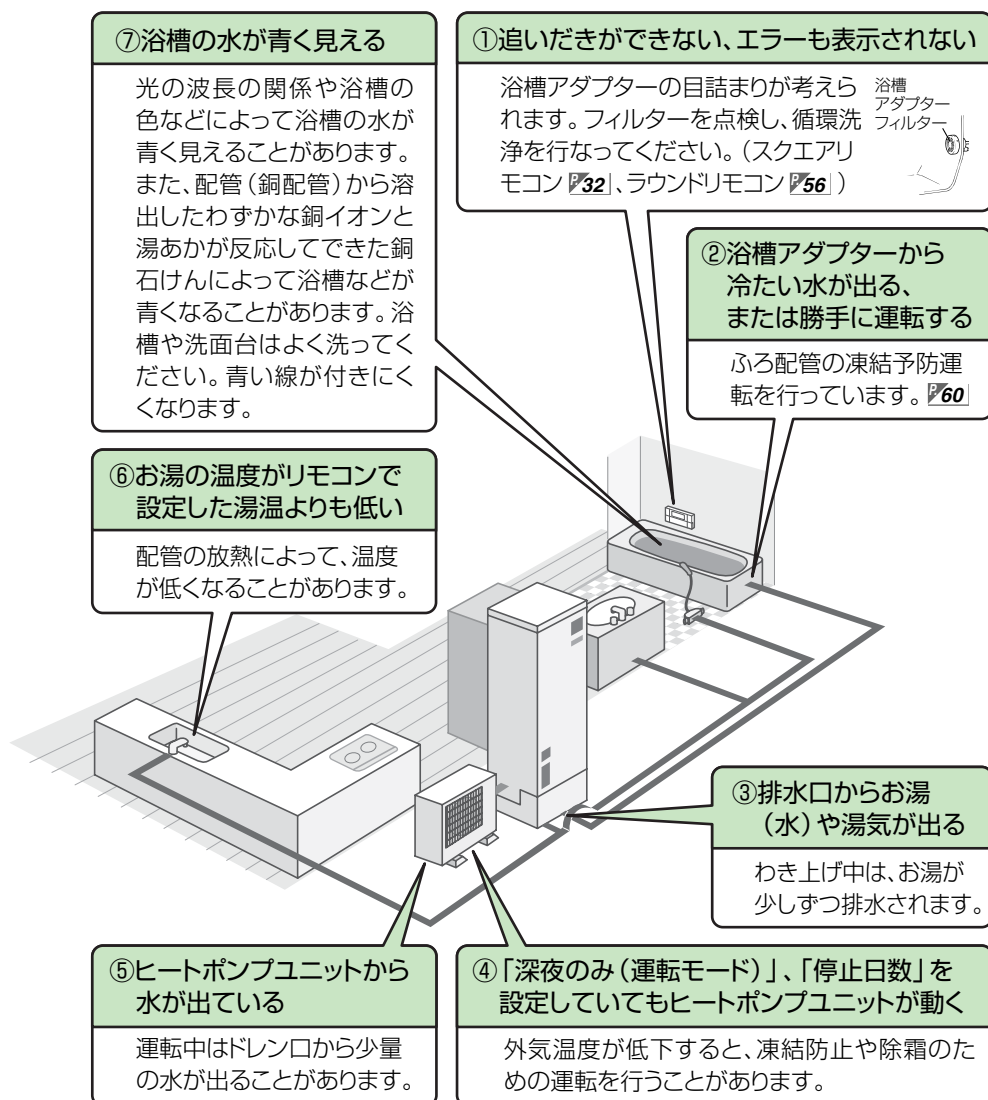
受付時間 365日 24時間

■全国どこからでも おかけいただけるフリーコール
0120-139-365（無料）
いつも サンキュー 365日
■通常電話番号（携帯電話対応）03-3414-9655
■ファックス 03-3413-4049

■ご相談対応　平　日　9：00～19：00
土･日･祝　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K07A

困ったときは

■ スクエアリモコン参照ページ
⬭ ラウンドリモコン参照ページ

よくあるご質問

①追いだきができない、エラーも表示されない

浴槽アダプターの目詰まりが考えられます。フィルターを点検し、循環洗浄を行なってください。（スクエアリモコン P32、ラウンドリモコン P56）

浴槽アダプターフィルター

②浴槽アダプターから冷たい水が出る、または勝手に運転する

ふろ配管の凍結予防運転を行っています。P60

③排水口からお湯（水）や湯気が出る

わき上げ中は、お湯が少しずつ排水されます。

④「深夜のみ（運転モード）」、「停止日数」を設定していてもヒートポンプユニットが動く

外気温度が低下すると、凍結防止や除霜のための運転を行うことがあります。

⑤ヒートポンプユニットから水が出ている

運転中はドレン口から少量の水が出ることがあります。

⑥お湯の温度がリモコンで設定した湯温よりも低い

配管の放熱によって、温度が低くなることがあります。

⑦浴槽の水が青く見える

光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また、配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンと湯あかが反応してできた銅石けんによって浴槽などが青くなることがあります。浴槽や洗面台はよく洗ってください。青い線が付きにくくなります。

製品形名〈製造番号〉	SRT-　　　　〈　　　　〉	据付工事店（販売店）の店名・住所・電話番号
台所リモコン形名	RMC-	
浴室リモコン形名	RMC-	
お買上げ日	年　　月　　日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

★長年ご使用の給湯機の点検を!　●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

こんな症状はありませんか	●水が漏れている ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。

群馬製作所　〒370-0492 群馬県太田市岩松町800
電話番号　0276-52-1111（代表）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

T965Z058H03〈2007-08〉